Clarion

取扱説明書（本体編）

DrivTrax P7DT Type II

ドリブトラックスP7DT TypeII

パーソナル ナビゲーション デバイス

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入しますので、内容をご確認のうえ、後々のためこの取扱説明書とともに大切に保存してください。

改訂: R00

商標
その他のブランドおよび製品名はすべて、各会社の商標または登録商標です。

メモ
このマニュアルに記載された情報は予告なく変更されることがあります。

目　次

1 はじめに 7

1.1 ハードウェア部品を理解する 7
前面部位 7
背面部位 8
右側部位 9
左側部位 9
上面部位 10
底面部位 10
1.2 初期起動の実行 11
1.3 AC電源の接続とバッテリの充電 12
1.4 車内での使用 13
カーホルダーの使用 13
カーチャージャーの接続 13
1.5 基本操作 14
電源のオンとオフ 14
本機の操作方法 14
ホーム画面 15
本機操作をロックする 16
1.6 SD/SDHC/MMCカードの挿入 16
1.7 スタイラスストラップ 17

2 ワンセグ 19

2.1 ワンセグプログラムを使用する前に 19
2.2 ワンセグについて 19
2.3 TVアンテナを引き伸ばす 20
2.4 ワンセグを起動または終了する 20
チャンネルをスキャンする 21
2.5 コントロールパネルとボタン 21
コントロールパネル 21

本体ボタン 23
2.6 テレビを視聴する 23
テレビチャンネルを選択する 23
フルスクリーンでテレビを視聴する 23
字幕と音声を選択する 24
EPGモードでテレビを視聴する 24
オンスクリーンディスプレイ 24
2.7 チャンネルリストを管理する 25
チャンネルリストを表示する 25
チャンネルリストを編集する 26
チャンネルリストをスキャンする 27
2.8 録画と再生 28
録画 28
録画可能時間について 29
録画したファイルを再生する 29
再生コントロール 30
2.9 テレビ画面をキャプチャする 31
2.10 プログラムを最小化する 31
2.11 設定 31
システム 32
バックライト 33
字幕/音声 33

3 **ビデオ** 35
3.1 ビデオの起動と終了 35
3.2 ビデオファイルを準備する 36
3.3 ビデオファイルを再生する 37
3.4 ビデオ再生コントロール 37

4 **オーディオ** 39
4.1 オーディオの起動と終了 39
4.2 オーディオファイルを準備する 40
4.3 オーディオファイルを再生する 40
4.4 再生コントロール 41
4.5 プレイリストの編集 42

4.6 イコライザ 44

5 **ピクチャー** 45

5.1 ピクチャーの起動と終了 45
5.2 画像を準備する 45
5.3 画像をサムネイル表示する 45
5.4 画像をフルスクリーン表示する 46
5.5 オンスクリーンコントロールボタン 47
5.6 スライドショーの表示 48

6 **セッティング** 49

6.1 セッティングの起動と終了 49
6.2 バックライト 49
6.3 ボリューム 50
6.4 画面 51
6.5 電源 51
6.6 日時 52

7 **トラブルシューティングとメンテナンス** 53

7.1 本体のリセットと終了 53
本体をリセットする 53
本体を終了する 53
7.2 トラブルシューティング 53
電源の問題 53
画面の問題 54
接続の問題 54
GPSの問題 55
7.3 本機のメンテナンス 55

8 **規制情報** 57

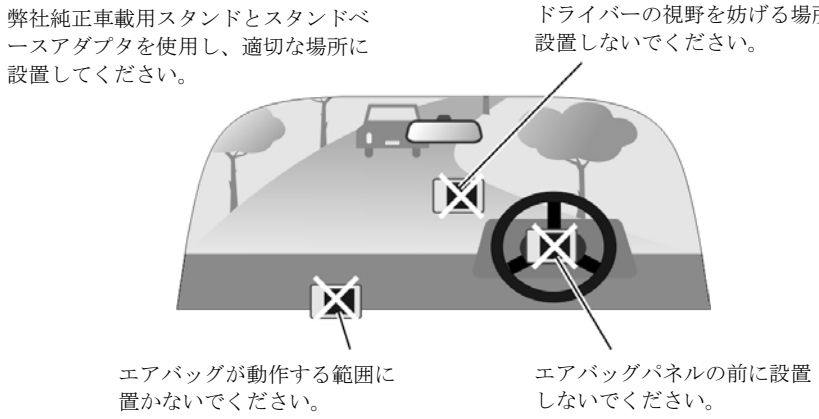
8.1 規制適合声明 57
VCCI 57
8.2 安全上のご注意 57
充電について 57
ACアダプタについて 58

液晶パネルについて 58
バッテリーについて 59

取り扱い上の注意

- 安全のため、クルマ・バイク・自転車等の運転中、製品の操作を行わないでください。また、運転中のワンセグテレビやビデオの操作、視聴は絶対におやめください。
- 安全のため、歩行中での製品の操作、ワンセグテレビやビデオの視聴は絶対におやめください。転倒や交通事故等の重大な事故につながるおそれがあります。
- 製品は注意深く使用してください。製品はナビゲーション目的にのみ使用するよう設計されており、方向、距離、場所、地形などの正確な測定はできません。
- ボタンの連打等の極端な操作は、本機の動作を不安定にしますのでおやめください。
- 検索されたルートは参照用に過ぎません。ユーザーの責任において、実際の信号や交通法規に従ってください。
- 直射日光が当たるダッシュボードの上などに製品本体を置いたまま車から離れないでください。バッテリが過熱して、故障や事故の原因になります。
- GPS は米国政府が運営し、その性能の責任を全部負っています。GPS システムの変更はすべての GPS 製品本体の精度に影響を及ぼすことがあります。
- GPS 衛星信号は固体（ガラスを除く）を通過できません。トンネルや建物内では、GPS 測位は利用できません。
- 現在の GPS 位置を決定するには最低 4 つの GPS 衛星信号が必要です。信号の受信状況は、悪天候や上方の（樹木や高層ビルなどの）密集した障害物の影響を受けることがあります。
- 車内の他の無線製品本体が衛星信号の受信を妨害して、受信が不安定になることがあります。

- 車内で本機を使用するにはカーホルダーが必要です。本機はドライバーの視界やエアバッグの動作を妨げないよう適切な場所に設置してください。

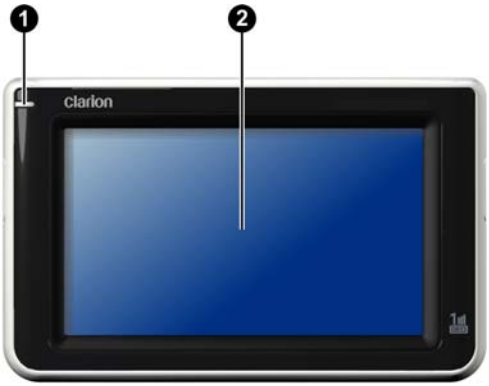


1 はじめに

1.1 ハードウェア部品を理解する

注意: ご購入いただいたモデルの違いにより、製品本体の色が本書に記載されている製品本体の色と多少異なる場合があります。

前面部位

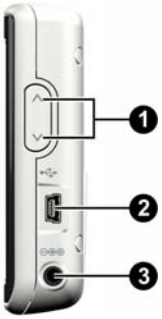


番号	名称	説明
❶	**充電インジケータ**	バッテリの充電中はオレンジ色に点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。
❷	**タッチスクリーン**	製品本体の出力を表示します。指先でスクリーンに触れることで、メニューコマンドの選択や情報の入力ができます。

背面部位

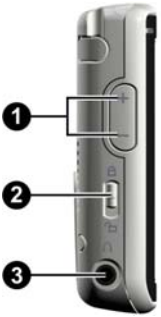
番号	名称	説明
❶	拡張コネクタ	このコネクタ（ゴム製ダストカバーの下）は将来の拡張用に準備されたコネクタです。現在は使用しません。
❷	TV アンテナ	デジタルテレビのワンセグ放送の信号を受信します。
❸	スピーカー	音楽および音声を出力します。
❹	ホルダー	平らな場所で本体を立てる時に使います。
❺	スタイラスストラップ穴	スタイラスストラップを取り付けます。

右側部位



番号	名称	説明
❶	チャンネルコントロール	ワンセグモードでチャンネルを切り替えます。
❷	ミニ USB コネクタ	USB ケーブルを接続します。
❸	電源コネクタ	AC アダプタを接続します。

左側部位



番号	名称	説明
❶	音量ボタン（＋/－）	本機の音量を調整します。
❷	ロックスイッチ	本機操作のロック/アンロックを切り替えます。
❸	ヘッドホンコネクタ	ステレオヘッドホンを接続します。

上面部位

番号	名称	説明
❶	SD/SDHC/MMC スロット	市販の SD (Secure Digital) や SDHC (Secure Digital High Capacity) や MMC (MultiMediaCard) カードを挿入します。
❷	消音ボタン	システムサウンド出力のオフ(消音)/オンを切り替えます。
❸	TV/GPS ボタン	ワンセグ放送に切り替えます。 注意:デバイスの電源をオンにした後にナビゲーションを起動した場合、ボタンを繰り返し押すことによってワンセグとナビゲーションを交互に起動できます。
		ワンセグがすでに起動している場合、ワンセグを終了しナビゲーションに切り替えます。
❹	電源ボタン	製品本体のオン/オフを切り替えます。(ボタンを短く押すか、長押しするかにより機能が異なります。詳しくは 1 章 5 節および 7 章 1 節 を参照してください。)

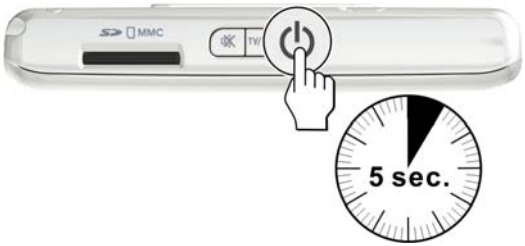
底面部位

番号	名称	説明
❶	リセットボタン	本機を再起動します（ソフトリセット）。

1.2 初期起動の実行

1. 初期起動では、電源ボタンを 5 秒以上押すと、製品本体の電源が入ります。

   注意: 通常動作では、電源ボタンを短く押すと、製品本体のオン/オフが切り替わります。



2. 製品本体を初めて使用する場合は、使用の前に次節で説明されているように AC アダプタを接続してバッテリの充電を完了してください。
3. ホーム画面が表示されます。これで、本機は使用できます。

1.3 AC 電源の接続とバッテリの充電

バッテリを最初に使用する場合、使用する前に 8 時間以上充電してください。

1. AC アダプタのプラグコンバータをカチッと音がするまでスライドさせます。
2. アダプタケーブルを製品本体右側面の下部に接続します。
3. AC アダプタをコンセントに差し込みます。
4. 充電中は充電インジケータがオレンジ色に点灯します。充電インジケータの表示が緑色に変わって、バッテリの充電が完了するまで、製品本体から AC 電源を外さないでください。充電には数時間かかります。

> **注意**:
> - 空になったバッテリを充電するためにACアダプタを接続した場合、本機をすぐにオンにしないでください。本体の電源を入れる必要がある場合は、1 分以上待ってから入れてください。
> - 本機をUSBケーブルでコンピュータに接続しても充電されません。専用ACアダプタを充電コネクタに接続してください
> - 本機がコンピュータに接続されていると、マスストレージデバイスとして認識されます。この場合、本機にあらかじめインストールされているファイルを削除しないでください。機能の不明なファイルを削除すると、本機の故障を招く恐れがあります。
> - 本機とコンピュータの接続を終了したら、本機をリセットしてください。

> **警告**: リチウムバッテリの最適な充電性能のために、以下に留意してください。
> - 温度が高い場所（直射日光が当たる場所など）でバッテリを充電しないでください。
> - 充電の前に、バッテリを完全に放電させる必要はありません。バッテリは放電しなくても充電できます。
> - 製品を長時間使用しなくても、バッテリは 2 週間に 1 度は充電してください。バッテリの放電が過度に進むと、充電性能に影響することがあります。

1.4 車内での使用

カーホルダーの使用

カーホルダーは本体を車内に固定するのに使用します。GPS アンテナが上空からの信号を常に受信できるように注意してください。

> **注意**: カーホルダーから本体を取り外す場合は、右図のリリースボタンを押してください。

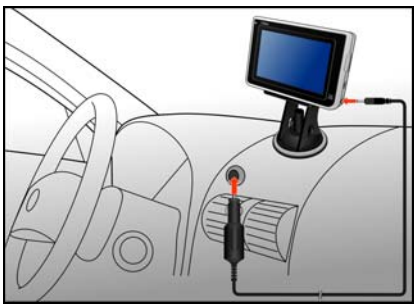
> **警告**:カーホルダーは適切な場所に設置してください。ドライバーの視界を妨げる場所には置かないでください。

カーチャージャーの接続

カーチャージャーは車内で本体に電源を供給します。

> **警告:** 本体をサージ電流から保護するために、カーチャージャーは自動車のエンジン始動後に接続してください。

1. カーチャージャーのピン端子を本体の電源コネクタに接続します。
2. 反対側を自動車のシガーソケットに接続すると、本体に電源が供給されると共にバッテリが充電されます。電源が本体に供給されていると、カーチャージャーのインジケータが点灯します。



1.5 基本操作

電源のオンとオフ

本機の電源を切る際は、電源ボタンを短く押してください。サスペンド状態となります。

電源ボタンをもう一度短く押すと、システムは再開します。前回中断した画面に戻るか、またはホーム画面に戻ります。

> **注意**:
> - 再開時に表示される画面はサスペンド時にご利用になっていたプログラムによって違います。一部のプログラムはサスペンド時に閉じますので再開時にはホーム画面が表示されます。
> - 電源ボタンを長押した場合は違う結果になります。詳しくは 7 章 1 節をご参照ください。

本機の操作方法

本機を操作するには、指先またはスタイラスでスクリーンに触れます。以下の動作が実行できます。

- **タップ**
  スクリーンを指先で 1 回軽くたたくと、項目を開いたり、スクリーン上のボタンやオプションを選択したりできます。
- **ドラッグ**
  指先でスクリーンに触れたまま、スクリーンの上下左右または斜めにドラッグします。
- **タップアンドホールド**
  動作が完了するまで、または結果やメニューが表示されるまで、指先をタップしたままにします。

ホーム画面

最初に本機を起動すると、ホーム画面が表示されます。ホーム画面は様々なアプリケーションを表示しています。メニューをタップすると、アプリケーションを開始したり、他のメニューを開いたりできます。

番号	ボタン名	説明	詳細情報
❶	**ナビゲーション**	ナビゲーションソフトウェアを開始します。	ナビゲーション編
❷	**ワンセグ**	ワンセグ放送を視聴できます。	第 2 章
❸	**ビデオ**	ビデオファイルを再生できます。	第 3 章
❹	**オーディオ**	MP3 音楽を再生できます。	第 4 章
❺	**ピクチャー**	画像を表示します。	第 5 章
❻	**セッティング**	システム設定をカスタマイズします。	第 6 章

本機操作をロックする

スクリーンやボタンに誤って触れて本機を操作しないように、操作をロックできます。

操作をロックするには、ロックスイッチをロックされた( ) 位置まで上にスライドします。

ロックを解除するには、スイッチをロック解除された ( ) 位置まで下にスライドします。

1.6 SD/SDHC/MMC カードの挿入

本機には、市販の SD（Secure Digital）カードや MMC（MultiMediaCard）カードや SDHC (Secure Digital High Capacity) カードが使用できるように SD/SDHC/MMC スロットが用意されています。4GB までの SD/SDHC/MMC カードに対応しています

SD/SDHC/MMC カードを使用するには、コネクタを先頭に、製品本体の正面側にラベルが向くようにして、カードをスロットに挿入してください。

カードを取り外すには、カードにアクセスしているアプリケーションがないことを確認してから、カードの上端を軽く押し、カードをリリースさせて、スロットから引き抜いてください。

注意: スロットには他のものを入れないでください。

1.7 スタイラスストラップ

スタイラスストラップは、本体に取り付けることができます。スタイラスストラップの 2 つの先端のどちらかでスクリーンをタップすることができます。先端は、本機をリセットするための手段としても機能します。(7 章 1 節を参照してください)。

2 ワンセグ

2.1 ワンセグプログラムを使用する前に

警告

お客様の安全のため、クルマ・バイク・自転車等の運転中、ワンセグテレビの操作・視聴は絶対におやめください。

また歩行中のワンセグテレビの利用も転倒や交通事故等の重大な事故につながるおそれがありますので、絶対におやめください。

2.2 ワンセグについて

「ワンセグ」とは携帯端末に向けた地上デジタル放送サービスです。

地上アナログ放送にはなかった、**「ワンセグ」**独自のデータ放送サービスのご利用が可能になります。

番組内容はご家庭向けの地上デジタル放送と同じになります。

「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。

社団法人地上デジタル放送推進協会 http://d-pa.org/

2.3 TV アンテナを引き伸ばす

注意:
- アンテナを引き出したり調整するとき、曲げたり力を無理に加えないように注意してください。アンテナが損傷する原因となります。
- 使用しないときは、アンテナを確実に格納してください。

注

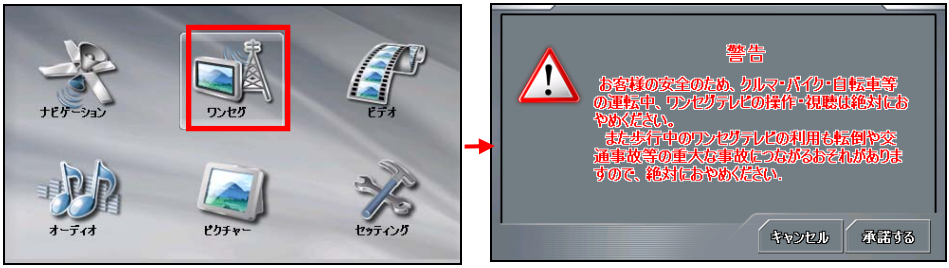
- 放送パフォーマンスは、受信する場所の信号受信によって異なります。

- テレビを視聴しますと、バッテリの消耗が早くなり、バッテリ残量は急速に減少します。バッテリ残量が限界値に達しますと、充電インジケータが点滅し充電するように警告画面を表示します。警告画面が表示されましたら、AC アダプタまたはカーチャージャーを接続してください。接続されない場合、本機は自動的にオフになります。

2.4 ワンセグを起動または終了する

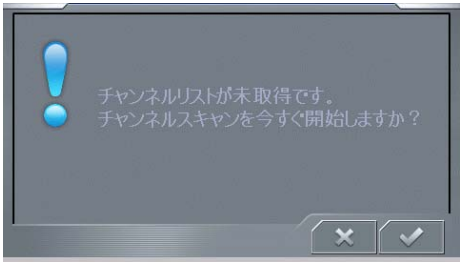
ワンセグでは、ワンセグ放送を視聴できます。ホーム**画面でワンセグ**をタップしますと、警告画面が表示されます。**承諾する**をタップしますと、ワンセグが起動します。

プログラムを終了するには、 をタップします。



チャンネルをスキャンする

初めてワンセグを起動するとき、チャンネルスキャンを実行するように促すメッセージが表示されます。



をタップし、目的のオプションを選択してスキャンを実行します。

- **オートスキャン**: 検出可能なすべてのチャンネルをスキャンできます(詳細は、2 章 7 節を参照してください)
- **エリア選択**: 異なる場所でチャンネルをスキャンできます。詳細は、2 章 7 節を参照を参照してください)。

2.5 コントロールパネルとボタン

コントロールパネル

インジケータ/ボタン	名称	説明
	バッテリ	バッテリの現在の電源残量を示します。
	ボリュームレベル	現在のボリュームレベルを示します。

インジケータ/ボタン	名称	説明
	受信レベル	現在のチャンネルの受信レベルを色で示します。赤はレベル 1(低)を、黄色はレベル 2~3 を、緑はレベル 4(高)を示します。放送パフォーマンスは、受信する場所の信号受信によって異なります。
	チャンネルリスト	タップしてチャンネルリストに切り替えます。
	EPG	EPG モードに切り換えると現在視聴中の番組の情報を表示することができます。
	再生	本体またはメモリカードに保存された、録画ファイルリストにアクセスします。
	録画	現在の番組を録画し保存します。
	キャプチャ	現在のテレビ画面をキャプチャし、保存します。
	メニュー	ワンセグメニューを表示します。
	チャンネルリスト	チャンネルリストにアクセスします。
	チャンネル編集	チャンネルリストを編集します。
	詳細	ワンセグ設定をカスタマイズします。
	最小化	ワンセグを最小化します。
	終了	ワンセグを閉じ、ホーム画面に戻ります。

本体ボタン

オンスクリーンボタンだけでなく、製品本体のボタンを使用してワンセグを操作することができます。

ボタン	説明
CH.∧ , CH.∨	前または次のチャンネルに切り替えます。
VOL.+, VOL.–	ボリュームを上げたり下げたりします。
TV/GPS ボタン	ワンセグを起動するか、ナビゲーションプログラムがすでに起動している場合、ワンセグとナビゲーションを切り替えます。 **注意**: このボタンを押すと、他の実行中アプリケーションが停止します。

> 注意: 受信状態が悪い場合には、操作に対する反応が鈍くなることがあります。

2.6 テレビを視聴する

テレビチャンネルを選択する

テレビチャンネルを選択するには、次のどれかを実行します。

- 本体の CH▲または CH▼ボタンを使用します。
- コントロールパネルで

をタップしてワンセグチャンネルリストにアクセスし、目的のチャンネルを選択します。
-

をタップし、次に をタップしてワンセグチャンネルリストにアクセスし、目的のチャンネルを選択します。

フルスクリーンでテレビを視聴する

ワンセグを起動した時の通常の表示モードは、画面の右側にコントロールパネルが表示されています。画面の左側の画像のどこでもタップしますとフルスクリーン表示に切り替わります。コントロールパネルは非表示になります。フルスクリーン画像のどこかを再びタップしますと、通常の表示に戻ります。

字幕と音声を選択する

詳細は、2 章 11 節を参照してください。

EPG モードでテレビを視聴する

コントロールパネルで EPG をタップしますと番組情報を表示することができます。EPG モードを終了するには、チャンネル名 をタップして通常の表示モードに切り換えます。

注意:

- EPG の番組情報表示は、表示スペースの都合上、一部表示が出来ない場合があります。
- 番組内容や受信状況により、番組情報表示が出来ない場合があります。

オンスクリーンディスプレイ

フルスクリーンモードで別のチャンネルに切り替えると、常にオンスクリーンディスプレイ(OSD) がスクリーンに 5 秒間自動的に表示されます。フルスクリーンモードでは、いつでも OSD 情報を表示することができます(詳細は、2 章 11 節を参照してください)。（オンスクリーンディスプレイは、フルスクリーン画面の上部にチャンネル名、時間、受信レベル、電源状況が約 5 秒間自動的に表示されます。）

2.7 チャンネルリストを管理する

チャンネルリストを表示する

チャンネルリストを使用して、本機ですでに検出しているチャンネルを閲覧します。

チャンネルリストを表示するには、次のどれかを実行します。

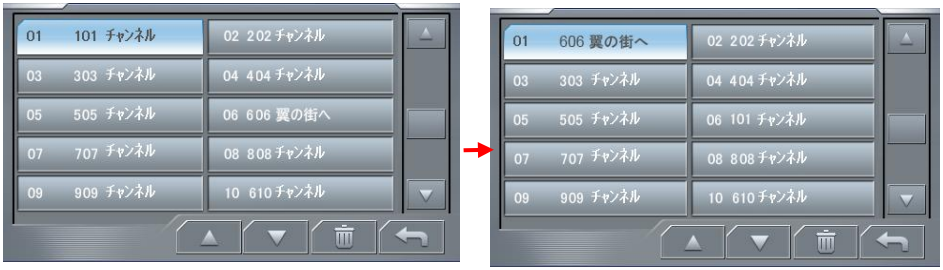
- 通常モードで、チャンネル情報ボタン(たとえば: チャンネル名)をタップしてワンセグチャンネルリストにアクセスします。
- メインスクリーンで メニュー をタップし、次に をタップしてワンセグチャンネルリストにアクセスします。
- チャンネルには、チャンネル周波数に基づき検出シーケンスにより番号が付けられます。現在のチャンネルがリストにハイライト表示されます。これをタップして目的のチャンネルに切り替えることができます。以下に、ワンセグチャンネルリストを示します。

> **注意:**チャンネルリストにアクセスしているとき、テレビ機能はバックグラウンドで実行されています。

チャンネルリストを編集する

チャンネルリストを編集するには、次のどれかを実行します。

- メインスクリーンで メニュー をタップし、次に をタップしてワンセグチャンネル編集スクリーンにアクセスします。
- チャンネルリストで をタップしてチャンネル編集スクリーンにアクセスします。
- チャンネル番号(位置)を編集するには、次のどれかを実行します。
- をタップして上にまたは をタップして下に選択したチャンネルを 1 つ移動します。
- または を 3 秒間タップしたまま押さえると、選択したチャンネルがリストの上または下に移動します。
- 選択したチャンネルをタップしたまま、目的のチャンネル番号までドラッグし、離します。2 つのチャンネルのチャンネル番号が入れ替わります。



> **注意:** チャンネル編集にアクセスしているとき、テレビ機能はバックグラウンドで実行されています。

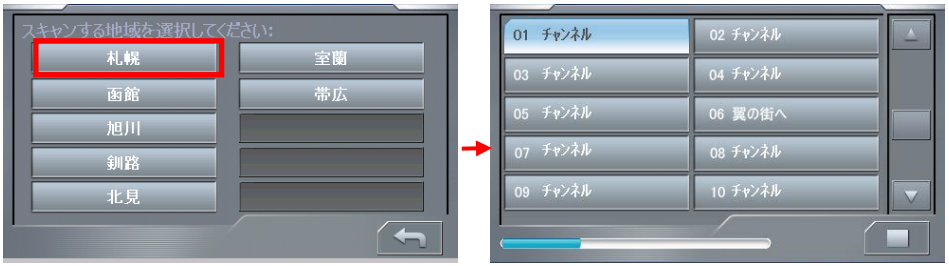
チャンネルリストをスキャンする

チャンネルリストで をタップします。

目的のオプションを選択してスキャンを実行し。目的のオプションをタップしてスキャンを開始します。

- **オートスキャン**により、検出可能なすべてのチャンネルをスキャンできます。目的のオプションをタップしてスキャンを開始します。

- **エリア選択**により、さまざまな地域ごとにスキャンすることができます。目的のオプションをタップしてスキャンを開始します。



スクリーン下部のステータスバーには、スキャンの進捗状況が表示されます。スキャンを停止するには、 をタップします。

> 注意: 既存のチャンネルリストが消去され、新しいリストで置き換えられます。

2.8 録画と再生

> **注意**:
> - 録画中には、別のチャンネルに切り替えられません。
> - 本機で録画したワンセグの録画ファイルは、本機のみで再生することができます。

録画

ワンセグ放送の録画を開始するには、メインスクリーンで REC をタップします。

タスクバーの左側に赤いインジケータが点灯し録画が進行中であることを示します。録画を停止するには、 をタップします。

録画されたファイルはデフォルトで本機の **My Flash Disk\My TV** フォルダに保存され、ファイル名にはチャンネル名と連続番号が含まれます。

録画可能時間について

1 回の連続録画時間は約 3 時間です。約 3 時間の録画を行う場合、

最大で約 470MB の空き容量が必要となります。

長時間の録画を行う場合はメモリーカードをご用意ください。

> **注意**:
> - 録画の際の保存先を選択出来ます。保存先の詳しい設定は 2 章 11 節を参考にしてください。
> - ワンセグ録画を終了しますと、自動的にチャンネル名と 4 桁の通し管理番号をファイル名として録画ファイルを作成し保存します。(4 桁の管理番号は、0000～9999 です。)
> - ファイル名の前に表示される 2 桁の番号は 01～99 までです。
> - 本体を終了したり、長期放置後、または録画ファイルの通し番号が 9999 を超えた場合は通し管理番号は 0000 から、再スタートします。
> - 上記のケースが発生後、新しい録画ファイルを保存した際に、チャンネル名と通し管理番号が同一の名前で保存されるケースが発生します。その場合、新しい録画ファイルを優先し、古い同名ファイルに上書きされ、過去に録画した同名ファイルは消去されてしまいます。チャンネル名が違っている場合は同じ通し管理番号でファイルが作成されます。
> - 録画したファイルは、録画を行った同一の本体でのみ再生できます。本体の交換や修理等によっても、以前録画したファイルは再生できなくなることがあります。

録画したファイルを再生する

録画したファイルを再生するには、メインスクリーンで をタップし、録画ファイルリストから再生するファイルを選択します。

をタップして再生を開始します。

再生コントロール

ボタン	名称	説明
	フルスクリーン	フルスクリーンモードに切り替わります。
	テレビに切り替え	ワンセグ放送に切り替わります。
	一時停止	画像の再生を一時停止します。
	再生リスト	再生リストに切り替わります。
	前へ	前に録画したファイルに切り替わります。
	次へ	次に録画したファイルに切り替わります。

再生リストでは、再生したいファイルを直接タップすることで選択したファイルが再生されます。

2.9 テレビ画面をキャプチャする

テレビを見ているとき、メインスクリーンで をタップしますと、テレビ画面をキャプチャすることができます。。

デフォルトで、キャプチャしたテレビ画面は本機の **My Flash Disk\My Pictures\My TV** フォルダに BMP ファイルとして保存されます。

> **注意**: ワンセグ放送のキャプチャー画面の保存先を選択できます。保存先の詳しい設定は 2 章 11 節を参考にしてください。

2.10 プログラムを最小化する

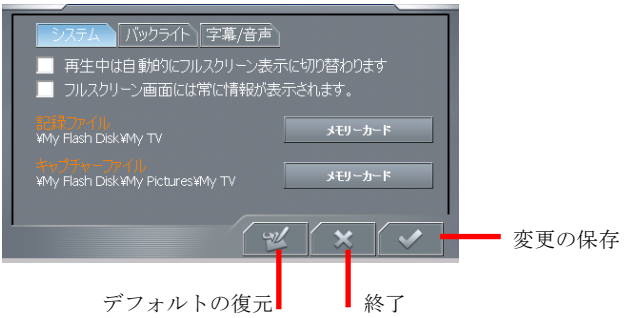
スクリーンを最小化し、プログラムをバックグラウンドで実行することができます。

プログラムを最小化するには、メインスクリーンの を、次に をタップします。

> **注意**: バックグラウンドで実行されているプログラムと共存できないプログラムを起動すると、バックグラウンドのプログラムは終了します。

2.11 設定

プログラム設定をカスタマイズできます。設定を変更すると、再び変更されるまでその新しい設定が有効になります。設定にアクセスするには、メインスクリーンの をタップし次に をタップします。

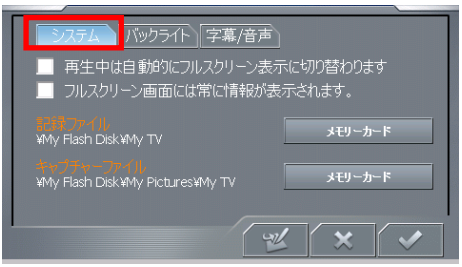


設定スクリーンには、この節で説明するように 3 つのページ(システム、バックライトおよび字幕/音声) があります。

各ページで変更を行った後、 をタップして変更を保存します。

デフォルト値を復元するには、 をタップします。

システム



- **再生中はフルスクリーン表示に切り替わります**

  有効にしますと、選局してから 10 秒後に通常モードからフルスクリーンモードに自動的に切り替わります。

- **フルスクリーン画面には常に情報が表示されます**

  有効にしますと、オンスクリーン情報は常にフルスクリーンモードで表示されます。本機が EWS(緊急警報システム)メッセージを受け取ると、画面上部に表示されます。

- **録画ファイルの場所を設定します**

  デフォルトの場所は、本機の **My Flash Disk\My TV** フォルダです。挿入されたメモリカードに記録されたファイルを保存するには、 メモリーカード をタップします。

- **テレビ画面をキャプチャしたファイルの場所を設定します**

デフォルトの場所は、本機の **My Flash Disk\My Pictures\My TV** フォルダです。挿入されたメモリカードに記録されたファイルを保存するには、 メモリーカード をタップします。

バックライト

バックライトのバーで明るさの調整が出来ます。

字幕/音声

- **字幕設定**

  上/下矢印をタップすることで字幕/音声オプションを選択できます。使用可能なオプションは*字幕1*、*字幕2*およびオフです。有効になっているとき、テレビ番組を再生するとサブタイトルがスクリーンに表示されます。

- **音声設定**

  上/下矢印をタップすることで字幕/音声オプションを選択できます。使用可能なオプションは*音声1*、*音声2*、*主*、*副*および*主+副*です。

  注意: 字幕設定にかかわらず、録画ファイルには字幕が入ります。

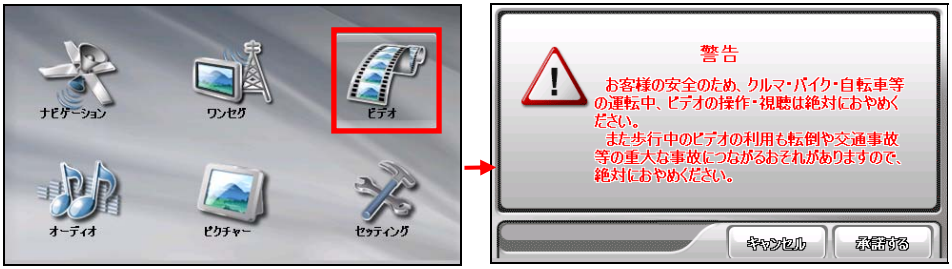
3 ビデオ

3.1 ビデオの起動と終了

> **警告**：運転している間はビデオの操作、視聴は絶対におやめください。ドライバーの視野に入るところでビデオを表示するのは、法規に触れる場合があります。

ビデオ により、本機で動画ファイルを視聴することができます。(本機がサポートする動画形式については、次節を参照してください)。

ホーム画面で**ビデオ**をタップすると、警告画面が表示されます。**承諾する** をタップすると、ビデオが起動します。



プログラムを終了するには、 をタップしてください。

3.2 ビデオファイルを準備する

ビデオを使用する前に、本機の **My Flash Disk\ My Videos** フォルダの容量を確保するか、またはメモリカードにファイルを空準備をしてください。

> 注意:
> - 各フォルダに保存可能な最大ファイル数は 512 です。
> - メモリカードのルートディレクトリに作成可能な最大フォルダ数は、FAT16 フォーマットのカードで 512 です。FAT32 フォーマットのカードではフォルダ数に制限はありません。
> - 対応するサンプリング周波数は、16kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz で、それ以外の音声を含むファイルは正しく再生されないことがあります。

本機は、次の形式のビデオファイルのみをサポートすることにご注意ください。

形式	ビデオコーデック	オーディオコーデック
MP4 (.mp4)	MPEG4	AAC
MP4 (.mp4)	H.263	AAC
AVI (.avi)	MPEG4	ADPCM
3GP(.3gp)	MPEG4	AAC
3GP(.3gp)	H.263	AAC
ASF(.asf)	MPEG4	ADPCM
WMV (.wmv)	WMV	WMA

本機がコンピュータに接続されていると、マスストレージデバイスとして認識され、コンピュータから**My Videos**フォルダに、ファイルをコピーすることができます。ファイルがメモリカードに入っている場合、そのカードを本体に挿入してください。

3.3 ビデオファイルを再生する

1. **ビデオ** をタップしてプログラムを起動します。
2. プログラムは本機の **My Videos** フォルダおよびメモリカードのすべてのフォルダから、再生できるファイルを検索します。その後、ビデオファイルリストが表示されます。

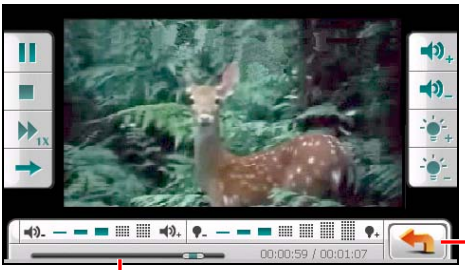
> **注意**:ビデオの長さやファイルサイズなどのファイル情報が、ファイル名と共に表示されます。

3. ビデオファイルを再生するには、ファイル名の前の

をタップします。または、ファイル名と をタップすることもできます。(オンスクリーンコントロールボタンの説明については、次節を参照してください)。

3.4 ビデオ再生コントロール

再生中に、スクリーンのどこかをタップして、オンスクリーンコントロールボタンを開いたり閉じたりします。コントロールボタンが閉じると、ビデオはフルスクリーンで表示されます。



コントロールボタン	名称	説明
/	**再生/一時停止**	再生するか、または再生を一時停止します。
	停止	再生を停止します。
	早送り	ビデオを早送りします。ボタンをタップすると、次の速度に切り換わります。 → →
	再生モード	次のモードに切り換わります。 1 回のみ再生 繰り返し再生
/	**音量**	音量を上げたり下げたりします。 下部のインジケータに現在の音量レベルが表示されます。
/	**バックライト**	ビデオのバックライトの明るさを調整することができます。下部のインジケータに現在の明るさレベルが表示されます。
	終了	ビデオの再生を停止し、ビデオリストの画面に戻ります。

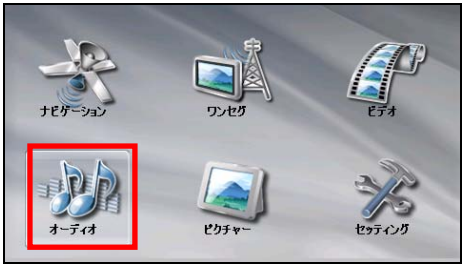
4 オーディオ

4.1 オーディオの起動と終了

オーディオは本機を MP3 プレーヤーにします。機能は以下の通りです:

- MP3/WAV/WMA ファイルの再生
- 再生、一時停止、停止、前曲、次曲といった基本的な再生コントロール
- 再生には、1 曲再生、繰り返し、1 曲繰り返し、サンプル再生、通常の曲順再生、ランダム再生が含まれます。
- 11 のプリセットイコライザオーディオプロファイル
- プレイリスト対応

ホーム画面の**オーディオ**をタップしますとオーディオのプログラムが起動します。



画面にはコントロールパネルが表示され、コントロールボタンをタップすることでプレーヤーを容易にコントロールできます。

プログラムを終了するには、 をタップしてください。

4.2 オーディオファイルを準備する

オーディオファイルを再生するには、本機の **My Flash Disk\My Audio** フォルダかメモリカードにファイル（.mp3、.wav、.wma）がなければなりません。

> **注意**:
> - 各フォルダに保存可能な最大ファイル数は 512 です。
> - メモリカードのルートディレクトリに作成可能な最大フォルダ数は、FAT16 フォーマットのカードで 512 です。FAT32 フォーマットのカードではフォルダ数に制限はありません。
> - 対応するサンプリング周波数は、16kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz で、それ以外の音声を含むファイルは正しく再生されないことがあります。

本機がコンピュータに接続されていると、マスストレージデバイスとして認識されます。コンピュータから **My Audio** フォルダに、ファイルをコピーできます。

4.3 オーディオファイルを再生する

1. ファイルがメモリカードに保存されている場合は、カードを本体に挿入します。
2. ホーム画面の**オーディオ**をタップしますとオーディオのプログラムが起動します。
3. プログラムは本体およびメモリカード内のオーディオファイルを検索します。オーディオファイルが検出されると、プレイリストに追加されます。
4. 再生を開始するには、 をタップします。再生をコントロールするには、以下で説明されるコントロールボタンを使用してください。

情報エリアには、再生/一時停止/停止の状態、経過時間、電源状態、再生モード、音量レベル、およびアーティスト名（表示可能なファイルの場合）、ファイル名、曲の長さ、ステレオ/モノ情報といった再生中の曲の情報を含む現在の状態が表示されます。

> **注意**:表示可能な最大時間は 99:59 なので、1 つの曲の全体の長さが 99 分 59 秒を超えると、情報エリアには正しく表示されません。ただし、曲の再生には影響ありません。

4.4 再生コントロール

コントロールボタン	名前	説明
/	**再生/一時停止**	再生または一時停止します。
	停止	再生を停止します。
/	**前曲/次曲**	前または次のファイルを再生します。
/	**音量**	音量を増減します。 パネル上のインジケータが現在の音量 レベルを表示します。
	再生モード	以下のモードを巡回します:
	シーケンス	現在のプレイリストの全ファイルを順番に再生します。
	リピート	現在ファイルを繰り返し再生します。

		現在のプレイリストの全ファイルを順番に繰り返し再生します。
		現在のプレイリストの全ファイルをランダムに再生します。
		現在のプレイリストの全ファイルをランダムにサンプリング（10 秒間）再生します。
	最小化	コントロールパネルを最小化し、背景で音楽を再生します。
	プレイリスト	プレイリストを開きます。（詳しくは 4 章 5 節を参照してください。）
	イコライザ	イコライザパネルを開閉します。(詳しくは 4 章 6 節を参照してください。)
	終了	プログラムを終了して、ホーム画面に戻ります。

4.5 プレイリストの編集

プレイリストはいつでも編集できます。オーディオを終了すると、プレイリストは保存されます。次にオーディオを起動すると、プレイリストに含まれるすべてのファイルが存在している限り、元のプレイリストがそのまま表示されます。（存在しないファイルはプレイリストに表示されません。）本体やメモリカードにオーディオファイルをコピーした場合、プレイリストに手動でファイルを追加できます。

> **注意**: オーディオ使用中にメモリカードを取り外して、再び装着すると、プレイリストは自動的に更新されます。

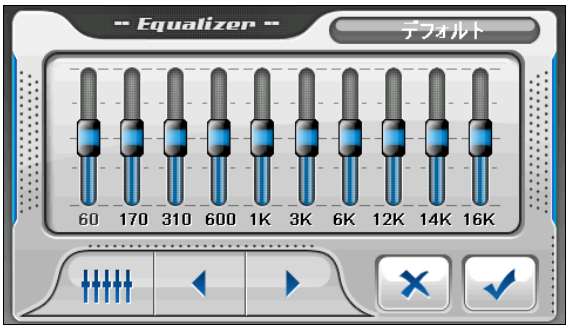
1. コントロールパネルの をタップすると、プレイリスト画面が表示されます。画面には現在のプレイリストが表示されます。

2. 曲をプレイリストに追加するには、 . をタップします。
3. すべてのオーディオファイルを掲載した画面が表示されます。追加する曲をタップしてから、 をタップします。

4. コントロールパネルに戻るには、 をタップします。

4.6 イコライザ

本機のイコライザには11のプリセットタイプが用意されています。 をタップすると、イコライザパネルが開きます。



または をタップすると、以下の使用可能なオプションを巡回します: デフォルト、ロック (Rock)、ポップ (Pop)、ジャズ (Jazz)、クラシック (Classical)、ダンス (Dance)、ヘビー (Heavy)、ディスコ (Disco)、ソフト (Soft)、3D、ホール (Hall)。

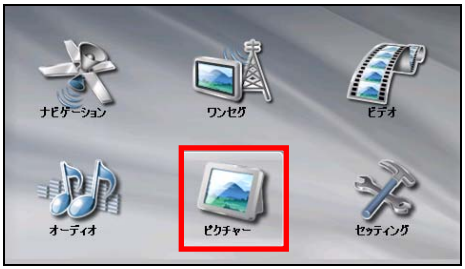
をタップすると、選択を保存して、コントロールパネルに戻ります。

効果なしを選択するには、 をタップしてください。

5 ピクチャー

5.1 ピクチャーの起動と終了

ピクチャーを使えば、JPG、JPEG、BMP 形式の画像を表示したり、本機内の画像のスライドショーを上映したりできます。



ホーム画面の **ピクチャー** ボタンをタップすると、プログラムが起動します。

プログラムを終了するには、 をタップしてください。

5.2 画像を準備する

画像を表示するには、本機の **My Flash Disk\My Pictures** フォルダかメモリカードに画像ファイル（.jpg、.jpeg、.bmp）がなければなりません。

本機がコンピュータに接続されていると、マスストレージデバイスとして認識され、コンピュータから **My Pictures** フォルダにファイルをコピーできます。

> **注意**:
> - ピクチャーではビットの深さが 32 以上の bmp ファイルを表示できません。
> - 作業領域を他のプログラムと共有しているため、本機の状態によって、表示できる最大画像サイズは変動します。

5.3 画像をサムネイル表示する

1. ファイルがメモリカードに保存されている場合は、カードを本体に挿入します。
2. ホーム画面の **ピクチャー** ボタンをタップすると、プログラムが起動します。

3. プログラムは本機の **My Pictures** のフォルダおよびメモリカードのすべてのフォルダから表示できるファイルを検索し、画像をサムネイル表示します。画面の右端にあるスクロールバーを上下に移動させることにより、画面を上下に動かすことができます。

注意: リスト上でサムネイル表示されるファイル数は 700 までです。

5.4 画像をフルスクリーン表示する

サムネイル表示の画像を 2 回タップすると、画像はフルスクリーン表示されます。

サムネイル表示に戻るには、画面上の任意の場所をタップし、コントロールボタンを表示させてから、 をタップしてください。

5.5 オンスクリーンコントロールボタン

オンスクリーンコントロールボタンは様々な機能と設定を提供します。画像上の任意の場所をタップすると、以下のボタンが表示されます。ボタン表示を閉じるには、画像を再びタップします。

コントロールボタン	名前	説明
	スライドショー	スライドショーを開始します。（詳しくは 5 章 6 節を参照してください。）
	間隔	各スライドが表示されてから次のスライドに移るまでの時間を設定します。ボタンをタップすると、次の使用可能なオプションにスイッチします。 1 秒、3 秒、5 秒
	情報	ファイルの名前と日付の表示/非表示を切り替えます。
	削除	現在の画像を削除します。
	ズーム	ボタンを必要な回数タップすると、1.2x、1.5x、1.8x、2.0x にズームインします。画像にズームインすると、画像をドラッグすることで、画像の他の部分を表示できます。
	戻る	サムネール表示に戻ります。

5.6 スライドショーの表示

すべての画像のスライドショーを表示するには、以下の方法の 1 つを使用します。

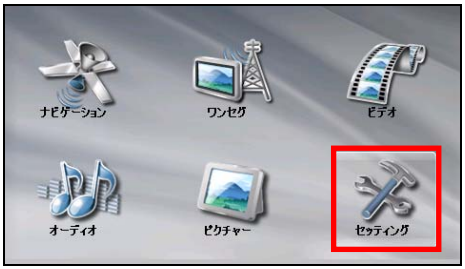
- サムネール表示で をタップすると、スライドショーが始まります。
- フルスクリーンで画像上の任意の場所をタップすると、オンスクリーンコントロールボタンが表示されます。その後、 をタップすると、スライドショーが始まります。

スライドショーを停止するには、画面上の任意の場所をタップしてください。

6 セッティング

6.1 セッティングの起動と終了

バックライトの輝度、音量、時間といったシステム設定をカスタマイズできます。設定を変更すると、次に変更するまで新しい設定がそのまま残ります。



ホーム画面の**セッティング** ボタンをタップすると、下のセッティングメニューが表示されます。

セッティングを終了するには、 をタップします。

各ボタンとその機能については次節から説明します。

6.2 バックライト

1. ホーム画面の**セッティング** ボタンをタップします。
2. **バックライト** ボタンをタップします。

3. トラックバーにそってノブを動かすと、バックライトの輝度を調整することができます。バックライトを暗くするには、ノブを左に動かします。バックライトを明るくするには、ノブを右に動かします。

4. [✓] をタップすると、変更が保存されます。

6.3 ボリューム

1. ホーム画面の**セッティング** ボタンをタップします。
2. **ボリューム** ボタンをタップします。

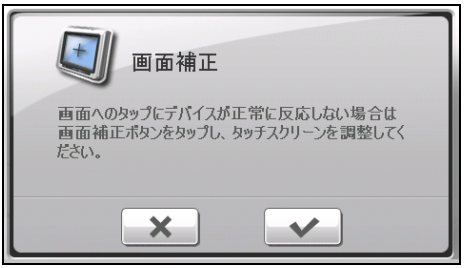
3. トラックバーにそってノブを動かすと、音量を調整できます。音量を下げるにはノブを左に動かします。音量を上げるには、ノブを右に動かします。
4. [✓] をタップすると、変更が保存されます。

注意：音量は 5 段階レベルで設定されております。微調整はできません。

6.4 画面

タッチスクリーンをタップしても正確に反応しない場合、タッチスクリーンを補正できます。タッチスクリーンの補正を行う場合はスタイラスをご用意ください。

1. ホーム画面の**セッティング** ボタンをタップします。
2. 画面ボタンをタップします。
3. をタップすると、補正を開始します。
4. ターゲットの中心を正確に押さえます。
5. ターゲットが他の位置に移動したら、新しいターゲットを押さえます。補正プロセスが完了するまで、この動作を繰り返してください。
6. 完了後は、 をタップします。



6.5 電源

バッテリの残量を確認したり、**電源**セービング機能を設定したりします。

1. ホーム画面の**セッティング** ボタンをタップします。
2. **電源**ボタン をタップします。

3. 画面にバッテリの残量が表示されます。
4. 一定時間使用しない場合、製品本体を自動的にオフにするタイマを設定できます。タイマなし、30 分、20 分、10 分のオプションが用意されています。

5. [✓] をタップすると、変更が保存されます。

6.6 日時

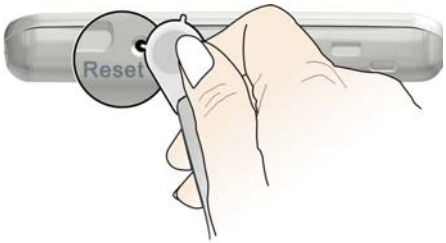
1. ホーム画面の**セッティング** ボタンをタップします。
2. **日時** ボタンをタップします。
3. タイムゾーンを変更するには、「タイムゾーン」項目の左/右の矢印をタップします。
4. 日付を変更するには、「日」項目の下矢印をタップします。カレンダーがポップアップ表示されます。カレンダーの左矢印をタップすると年月が戻り、右矢印をタップすると年月が進みます。または、カレンダー上部の月または年をタップすると、月または年を直接変更できます。

5. カレンダーが現在の月を表示している場合、カレンダーの日付をタップしてください。
6. 時間を設定するには、まず「時刻」項目の時、分、または秒をタップします。上矢印をタップすると値が増加し、下矢印をタップすると値が減少します。
7. [✓] をタップすると、変更が保存されます。

7 トラブルシューティングとメンテナンス

7.1 本体のリセットと終了

本機が反応しない場合、または動作が不安定な場合はリセットしてください。



本体をリセットする

本体をリセットする場合は、スタイラスストラップをリセットボタンに挿入することでリセットできます。

これを、「ソフトリセット」と呼びます。

本体を終了する

本体を終了させる場合は、電源ボタンを 5 秒間押し続けてください。本体を終了させた場合、実行中のすべてのプログラムが終了します。再度電源を入れる場合は電源ボタンを 5 秒間押し続けると電源が入りホーム画面が表示されます。

7.2 トラブルシューティング

電源の問題

バッテリ電源を使用すると電源がオンにならない

- バッテリ電源の残量が少ない場合、本体が起動しない可能性があります。AC アダプタを使って本体と AC 電源を接続してから、本機の電源を入れてください。

画面の問題

画面が映らない

電源ボタンを押しても、画面が反応しない場合、問題が解決するまで以下の方法を順に実行してください。

- AC アダプタを使って製品本体と外部 AC 電源を接続します。
- 本体をリセットします。

画面の反応が遅い

- 本機がバッテリ電源を使い果たしていないことを確認してください。それでも問題がある場合は本体をリセットしてください。

画面がフリーズする

- 本体をリセットしてください。

画面が見づらい

- ディスプレイのバックライトがオンになっていることを確認してください。
- バックライトの設定を明るくしてください。

タップが正しく反応しない

- タッチスクリーンを再補正してください。

接続の問題

ケーブル接続の問題

- 接続を確立する前に、本機とコンピュータの両方の電源が入っていることを確認してください。
- ケーブルがコンピュータのUSBポートと本機に正しく接続されていることを確認してください。USB ケーブルは USB ハブを通してではなく、コンピュータに直接接続してください。

- ケーブルを接続する前に本体をリセットしてください。コンピュータを再起動する場合は必ず本機を外してください。
- ケーブル接続を終了した後に本体をリセットしてください。

GPS の問題

GPS 測位されない場合、以下を検討してください。

- GPS アンテナが上空からの信号をよく受信できるようになっていることを確認してください。
- GPS 受信は以下の要素の影響を受けることに注意してください。
  - ✓ 天候不良
  - ✓ 上方の（樹木や高層ビルなどの）密集した障害物
  - ✓ 車内の他の無線機器
  - ✓ 自動車のフロントガラスまたはウィンドウの反射材

7.3 本機のメンテナンス

本機のお取り扱いにご注意いただくことで、トラブルのない動作が確保され、故障の可能性を低減できます。

- 高温・多湿の場所に本機を置かないでください。
- 直射日光や強い紫外線のあたる場所に本機を長時間放置しないでください。
- 本機の上にものを置いたり、本機の上にものを落としたりしないでください。
- 本機を落としたり、本機に強い衝撃を与えたりしないでください。
- 本機に急激で大幅な温度変化を与えないでください。これにより本体内部に結露が生じて、故障の原因になることがあります。結露が生じた場合は、使用する前に、本体を完全に乾かしてください。
- 本機の上に座らないように注意してください。また、本機はズボンの後ろのポケットに入れて持ち運ばないようにお勧めします。

- 液晶パネルの表面は傷つきやすくなっています。とがったもので触らないでください。画面が傷つくのを防ぐためには、液晶パネルを装備したポータブル機器で使用するために専用にデザインされた非粘着性の一般的なスクリーンプロテクターが使用できます。
- 電源を入れたまま本機をクリーニングしないでください。本機の画面やフレームを拭く場合は、柔らかくて糸くずの出ない布を使用してください。
- 画面をクリーニングする場合、ペーパータオルを使用しないでください。
- 本体の分解、修理、改造はしないでください。分解、改造、修理は本体の故障、傷害、器物損壊の原因となり、保証が無効になります。
- 本機およびその部品やアクセサリと同じ場所に、可燃性の液体、気体、爆発物を保存または搬入しないでください。

8 規制情報

8.1 規制適合声明

VCCI

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

8.2 安全上のご注意

⚠ 警告

お客様の安全のため、クルマ・バイク・自転車等の運転中、ナビゲーション画面の操作および注視、またワンセグテレビやビデオ再生の操作・視聴は絶対におやめください。

また歩行中の上記利用も転倒や交通事故等の重大な事故につながるおそれがありますので、絶対におやめください。

- 最大音量で長時間音楽を聞くと、聴力障害の原因になる場合があります。

充電について

- 製品付属の AC アダプタ以外はご利用にならないでください。その他の AC アダプタを使用すると、故障や発火、火災の原因となり、危険です。
- 製品付属のカーチャージャー以外はご利用にならないでください。その他のカーチャージャーを使用すると、故障や発火、火災の原因となり、危険です。
- この製品の定格は + 5 V DC / 2.0 A です。
- 指定のバッテリー以外はご利用にならないでください。

AC アダプタについて

- 本品は日本国内専用で、屋内専用です。
- 付属する機器以外への接続、使用をしないでください。
- アダプタは高湿環境で使用しないでください。また、濡れた手足でアダプタに触れないでください。
- 使用中は表面が熱くなることがあります。
- 家庭用 AC 電源以外では使用しないでください。
- アダプタを接続して製品を使用している場合や、バッテリを充電している場合は、アダプタ周辺を適度に換気してください。AC アダプタに紙をかぶせたり、異物を置くなどして、アダプタの冷却を妨げないでください
- 電源アダプタを抜くときは、必ずアダプタ本体を持って抜いてください。コードを引っ張ると破損したり火災や感電の原因になることがあります。
- アダプタはぬれた手で抜き差しを行わないでください。感電の原因になることがあります。
- コードが破損した場合は、アダプタの使用を中止してください。
- ショート、分解、改造などはしないでください。
- 本体をご自分で修理しないでください。本体内部にはユーザ自身が修理できる部品は含まれていません。本体が破損したり、浸水を受けた場合は、交換してください。

液晶パネルについて

- 液晶パネルを強く押したり、強い衝撃などを与えないでください。液晶パネルのガラスが割れ、けがの原因になる場合があります。
- タッチスクリーンを指などで強く押しますと、液晶パネルの表面にニジミなどが発生し、故障の原因になる場合があります。力の掛けすぎに注意してください。

- タッチスクリーンにペン先などの固いもの、または鋭利なもの等で強くタップしたり、擦ったりしないでください。傷や故障の原因になります。

バッテリーについて

- メーカー認定の充電器以外はご利用にならないでください。
- 警告: バッテリーを分解したり、穴を開けたり、火気の中に入れないでください。バッテリーが破裂または爆発し、有害物質が放出される危険があります。
- 重要 (サービス員限定)
  - ✓ 注意:不当な種類のバッテリーと交換すると、爆発する危険があります。使用済みバッテリーは地域の指示に従って廃棄してください。
  - ✓ 同じバッテリー、またはメーカーの推奨する同等のバッテリーと交換してください。
  - ✓ バッテリーは正しくリサイクルまたは廃棄してください。
  - ✓ 指定されたデバイスでのみ、バッテリーをご利用ください。

クラリオン株式会社

本社事務所
〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7-2
Clarion ホームページ　http://www.clarion.com

お問い合わせはお客様相談室へ
フリーダイヤル:0120 -112 -140

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

*お客様へ … ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、あとでお問い合わせされるときに便利です。

2009/9　QX-3010A

Clarion

取扱説明書（ナビゲーション編）

DrivTrax P7DT Type Ⅱ

ドリブトラックスP7DT TypeⅡ

パーソナル ナビゲーション デバイス

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入しますので、内容をご確認のうえ、後々のためこの取扱説明書とともに大切に保存してください。

本製品をお買い上げいただき
誠にありがとうございます。

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分内容を理解した上で操作を行ってください。特に、安全上のご注意は必ずお読みください。
また、お読みになった後は、いつでも見られるように大切に保管してください。

目次

はじめに

ご使用の前に知っておいていただきたいこと …… 6
本書の表示 …… 7
安全上のご注意 …… 8

ナビゲーション機能：基本操作と地点検索

ナビゲーション機能の特長 …… 14
ナビゲーションの各画面共通の表示や操作 …… 15
ナビを起動する …… 17
地図画面の基本的な使い方 …… 18
現在地画面／地図画面 …… 19
ナビゲーションメニュー画面 …… 25
地点検索と地図の表示 …… 27
地点検索：名称検索 …… 28
地点検索：住所検索 …… 29
地点検索：ジャンル検索 …… 30
地点検索：検索履歴 …… 31
地点検索：周辺検索 …… 32
地点検索：電話番号検索 …… 33
地点検索：緯度経度検索 …… 34
地点検索：登録スポットから探す …… 35

ナビゲーション機能：ルート探索と案内

ルート案内機能の基本的な使い方 …… 38
ルート設定画面 …… 39
ルートを設定する …… 40
ルートを比較する …… 43
ルート案内中の表示や機能 …… 45
ルート案内画面：通常表示 …… 46
ルート案内画面：レーン情報優先表示 …… 47
ルート案内画面：ポップアップメニュー表示 …… 48
ルート案内画面：交差点拡大図表示 …… 49
ルート案内画面：ハイウェイマップ表示 …… 50

ナビゲーション機能：登録管理

登録管理機能の基本的な使い方 …… 52
SDカードとダウンロードデータの使用について …… 53
登録管理メニュー画面 …… 55
自宅管理／アイコン並び替え／オービス管理 …… 56
おこのみスポットを見る …… 57
おこのみスポットを編集する …… 58
登録ルートを使う・編集する …… 63
アイテム管理 …… 64
ログ管理：あしあとログの記録 …… 65
ログ管理：エコドライブモード（エコドライブ診断） …… 66
ログ管理：エコドライブモード（燃費計算） …… 68

目次

ナビゲーション機能：ナビゲーションの設定

ナビゲーション設定画面……70
ナビゲーション設定……71
表示設定：通常設定 ……72
表示設定：詳細設定 ……74
サウンド設定……76
案内設定 ……77
GPS情報画面 ……78

付録

測位機能について ……80
地図データベースについて……81
商標・著作権・ライセンスなど……84

はじめに

ご使用の前に知っておいていただきたいこと

ご使用の前に行っていただくこと

●本体および付属品が全て入っているかをご確認ください。

●取扱説明書（本書）をよくお読みください。また、読んだあとはいつでも取り出せる場所へ大切に保管してください。

●本体へ電源を接続し、内蔵バッテリーを充電してください。

製品について

●本製品はポータブルナビゲーションとして開発されています。カーナビとして使用するときは、運転中には操作を行わず、安全な場所に停車して操作してください。

●緊急を要する施設（病院、警察、消防など）の検索や案内は、本製品を頼らず該当施設へ直接ご連絡ください。

●本製品の仕様や本書は、製造・梱包時の情報や法規に則って制作されています。

●本製品の仕様や画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

●本書の内容は予告なく変更する場合があります。また、イラストはイメージです。画面の色などは実際と異なる場合がありますのでご了承ください。

免責事項

●お客さま、または第三者が本製品の使用を誤ったとき、静電気や電気的なノイズの影響を受けたとき、故障による修理のときなどに、登録されていた内容が変化・消失した場合、当社は補償を行いません。

●事故時や業務用で使用されている場合の損害についての補償は行いません。

●本製品の使用、または使用不能による付随的な損害（事業利益の逸失、記録内容の変化や消失など）に関して、当社では一切の責任を負いかねます。

●お客さまが本体やSDカードへ登録された個人情報（登録スポットなど）は、お客さまの責任において管理を行ってください。特に本製品を第三者へ譲渡したり、廃棄する場合は、お客さまの責任において消去等の処置を行ってください。当社では登録された情報による損害について、一切の責任を負いかねます。

●本製品は日本国内向けに製造されたものです。海外ではご使用になれません。
This product is not designed for oversea use.For use in Japan only.

●船舶や航空機の主航法装置としての使用や、登山用地図としての使用など、本来の使用方法から逸脱した使用により生じた損害についても、当社は一切の責任を負いません。

本書の表示

本製品および取扱説明書の表示について

本製品および本書では、本製品を正しくお使いいただき、事故や損害を未然に防ぐために様々な表示を行っています。その表示と意味は次の通りです。

注意すべき事柄の表示

注意事項は、その内容を守らなかった場合に想定される危害や損害の程度により、区分して表示します。

⚠ **危険**	人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される事柄
⚠ **警告**	人が死亡または重傷を負う危険を避けるため、必ず守っていただきたい事柄
⚠ **注意**	人が軽傷を負ったり、物的損害を避けるため、必ず守っていただきたい事柄

注意すべき内容の表示

注意すべき内容の性質は、次の表示で表しています。

⃠ **禁止**	絶対にしてはいけない事柄
❗ **強制**	必ず行っていただく事柄

操作方法の表示

本書内では、操作方法や画面表示について次の表示を行っています。

タッチパネル	画面に触れて操作します。

安全上のご注意

⚠ 危険

内蔵バッテリーを他の用途や方法で使用しない。
本体を分解して内蔵バッテリーを取り出したり、本体を傷つけることにより内蔵バッテリーが破損すると、発熱や発火、漏液、破裂の原因となり大変危険です。次のことを必ずお守りください。

●指定以外の方法や機器を使って充電しないでください。

●本体から内蔵バッテリーを取り外して他の機器で使用しないでください。

●本体や内蔵バッテリーの分解や改造を行ったり、釘や刃物などで傷つけたりしないでください。

●本体を踏みつけたり落下させるなど、強い衝撃を与えないでください。

●本体を火中へ投入したり、加熱しないでください。火のそばや高温になる場所へ放置しないでください。

●本体内部へ水を入れないでください。

●万一、内蔵バッテリーが露出してしまったときは、内蔵バッテリーの⊕と⊖を金属などで接触させたり、アクセサリーなどの金属製品と一緒に持ち運ばないでください。

●内蔵バッテリーが破損したり液漏れを起こしているおそれがある場合は、ただちに電源を切って使用を中止し、当社へご連絡ください。

内蔵バッテリーが液漏れを起こしているときは、内部の液体に触らない。
内部の液体が皮膚に付着すると負傷するおそれがあります。また、目に入った場合は失明するおそれがあります。

●内部の液体が皮膚や衣類に付着したときは、ただちにきれいな水で洗い流してください。

●目に入ったときは、目をこすらずにきれいな水でよく洗い流し、医師の診察を受けてください。

内蔵バッテリーが液漏れを起こしているときは、ただちに火気から遠ざける。
漏れた液体に引火し、発火や破裂の原因となるおそれがあります。液体に直接触れないようにして火気から遠ざけてください。

安全上のご注意

⚠ 警告

本製品を船舶や航空機の航法装置として使用したり、登山用地図として使用しない。
本製品のナビゲーション機能は道路のナビゲーションを目的に作られています。船舶や航空機の航行用に使用すると、測位の誤差などにより航行に支障が生じるおそれがあります。また、登山用などに使用すると、電池切れにより地図が見られなくなることがあります。

運転したり、歩きながら本製品の操作や注視をしない。
事故の原因となります。特に運転者が操作を行うと、前方不注意で事故の原因となります。また、道路交通法違反になりますのでご注意ください。

車での使用時は、安全な場所に停車して本製品の操作を行ったり画面を見る。
駐停車禁止場所など危険な場所に停車すると、事故の原因となります。

交通規制に従って走行する。
ナビゲーションと実際の交通状況が合っていないことがあります。このような場合に無理にナビゲーションに従って走行すると事故の原因となります。

濡れた手で取付や操作をしない。
特に電源部分を濡れた手で触ったり操作をしないでください。故障の原因となります。

分解したり改造しない。
故障や火災の原因となりますので、分解や改造などは行わないでください。

故障した状態で使用しない。
そのまま使用し続けると火災や事故の原因となります。お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。

水をかけたり、水中へ入れない。
本体は防水ではありません。水をかけると本体内部へ浸水し故障の原因となります。水道で洗ったり水中へ沈めないでください。

本体内部へ異物を入れない。
故障や火災の原因となるほか、感電の危険があります。各端子やSDカードスロットへ異物を混入させないでください。

本体を火中に投入しない。
破裂や故障、火災の原因となりますので絶対におやめください。

安全上のご注意

⚠ 警告

雷が発生しているときは本体やケーブルに触れない。
被雷の危険がありますので触れないでください。

タコ足配線をしない。
火災や過熱の原因となりますのでおやめください。

万一、発火、発煙、異臭、高温などの異常な状態になった場合は、ただちに使用を中止する。
継続して使用すると事故や負傷の原因となります。車で使用している場合は安全な場所へ停車して使用を中止してください。

必ず付属品や指定の部品を指定どおりに使用する。
指定以外の部品の使用は、破損、火災の原因となることがあります。また、安全性能が低下し事故や故障の原因となります。

ACアダプターやDCケーブルのケーブル部分を傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったりしない。
ケーブル内部で断線が起こり、故障や火災、感電の原因となります。無理な力を加えないでください。

安全上のご注意

⚠ 警告

車へ取り付けるときは、次の場所へ取り付けない。
- ●前方の視界を妨げる場所
- ●ハンドルやレバーなどの運転装置の操作の妨げになる場所
- ●同乗者に危険を及ぼす場所
- ●エアバッグなど車の安全装置の動作を妨げる場所
- ●振動の多い場所や傾斜のきつい場所、曲面など不安定な場所

事故や負傷の原因となりますのでご注意ください。

外れたり、落下しないようにしっかり取り付ける。
設置場所の汚れなどを拭き取り、確実に設置してください。特に吸着ベース板の再貼り付けや、汎用の両面テープなどで取り付けると接着が弱くなり、走行中にはずれて落下し、事故やけがの原因になります。お使いの前には、設置の状態（ゆるみやガタなどがないかなど）を定期的に点検してください。

取付は安全な場所に駐車して行う。
走行中の取付は大変危険ですので絶対に行わないでください。

車のシガーライターソケットに異物がないことを確認してから、電源プラグを差し込む。
異物があるとショートが起こり、故障、火災の原因となります。

⊕アースの車と接続しない。
本製品はDC12Vの⊖アース車用です。これ以外の直流電源への接続は故障、火災の原因となります。

指定以外のヒューズを使用しない。
指定以外のヒューズを使用すると、故障や火災の原因となります。

航空機や病院など、機器を高精度で制御している場所や微弱な電気信号を取り扱う機器のそばでは電源を切る。
周辺の機器や計器が誤作動を起こすなど、悪影響を与えるおそれがあります。

安全上のご注意

⚠ 注意

車のエンジンが停止した状態で本体を長時間使用しない。
DCケーブルを接続して電源供給を行っている状態で使用し続けると、車のバッテリーがあがる恐れがあります。

適度な音量で使用する。
外部の音が聞こえず事故の原因となったり、聴力に悪影響を与えるおそれがあります。

長期間使用しない場合は安全のため電源プラグを抜く。
感電や火災の原因となることがあります。

直射日光が当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所で長時間使用したり、放置しない。
やけどや火災、故障の原因となることがあります。

油煙やほこりのかかる場所で使用しない。
火災や故障、感電の原因になることがあります。

傾いた場所など不安定な場所に置かない。
本体が落下してけがをしたり、破損の原因となることがあります。

本体をクッションやふとんなどで覆って使用しない。
過熱、火災の原因となることがあります。

とがったものや強い力で液晶ディスプレイを押したり、強い衝撃を与えない。
ガラスが破損し、けがの原因となることがあります。

取付スタンドに必要以上の力を入れない。
破損したりけがの恐れがあります。

車への取付時は、指定の手順を必ず守る。
正しく取り付けないときちんと固定されず、破損やけがのおそれがあります。
特に、本体の起動と外部電源への接続の順番を必ずお守りください。

ACアダプターやDCケーブルの抜き差しを行うときは電源ケーブルを引っ張らない。
電源ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

濡れた手でACアダプターやDCケーブルを抜き差ししない。
感電の原因となることがあります。

ナビゲーション機能：基本操作と地点検索

ナビゲーション機能の特長

充実の収録データときめ細かなルート探索

10 段階の縮尺切り替えが可能な地図データや「 丁目・番地・号 」までの検索が可能な約 3,500 万件の住所データをはじめ豊富なデータを収録済み。ルート探索モードは 4 モード、ルートの表示モードは 3 モード (クルマ、バイク、徒歩・自転車) を設定でき、最適なルートを導きます。

具体的な画面表示と音声で親切ルート案内

走行に必要な情報を具体的に画面表示と音声で分かりやすく案内します。交差点や高速道路では2画面で詳細情報を表示。最大5つ先の交差点のレーン情報を表示する走行レーンアシスト、一般道道路標識 (青看板) など、重要ポイントを逃さない親切案内です。

エコドライブモード

財団法人省エネルギーセンターが運営するエコドライブサポートサービス『Recoo 』と連携。『Recoo 』が提唱する「 エコドライブ 10 のすすめ 」のひとつである「 ふんわりアクセル『eスタート 』」に準拠し、加減速を検知してドライビングを診断します。

ダウンロードで機能拡張

ウェブサイトからナビゲーション機能拡張データをダウンロードして使用可能。有料・無料の様々なデータを追加して使えます。詳細はクラリオンウェブサイトhttp://www.clarion.com/jp/ja/DrivTrax/download.htmlをご覧ください。

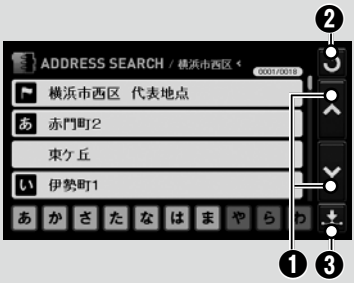
ナビゲーション機能		
地図データ	インクリメントP社製、10 段階切替 (50m～250km)	
地点検索	住所データ	約 3,500 万件
	名称検索データ	約 200 万件 (直接入力で検索可)
	ジャンル検索データ	約 200 万件
	電話番号データ	約 800 万件
ルート探索	探索モード	オススメ、距離優先、高速優先、一般優先
	移動手段・ ルート表示方法指定	クルマ、バイク、徒歩・自転車
	経由地設定	最大 8 箇所
ルート案内	交差点クローズアップ表示	○ (2 画面表示)
	ハイウェイマップ表示	○
	一般道案内標識 (青看板)	○
	交差点名称表示	○ (ルート案内時)
	走行レーンアシスト	○
地点登録	おこのみスポット登録	最大 2,500 件
	自宅登録	1 件
	オービス登録	最大 100 件、設置方向設定可
その他	エコドライブモード、あしあとログ、画面カスタマイズ (アイコン表示／非表示ほか)、地図色切替ほか	

ナビゲーションの各画面共通の表示や操作

各画面共通の表示や操作

各画面に共通して表示されるボタンやアイコンの意味、操作は次の通りです。

例）住所検索画面



❶スクロールボタン

候補リストをスクロールします。

❷戻るボタン

前画面へ戻ります。

❸現在地ボタン

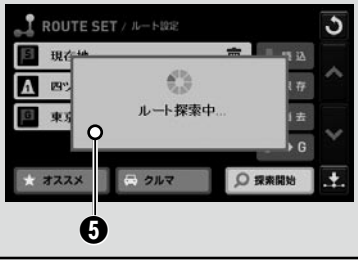
現在地画面へ戻ります。

例）地点ポップアップ画面

❹ポップアップを閉じる

ポップアップが表示され、地図が灰色になっているときは、地図部分をタッチするとポップアップを閉じます。

例）ルート探索結果画面



❺メッセージを閉じ次のステップへ進む、または動作を中止する

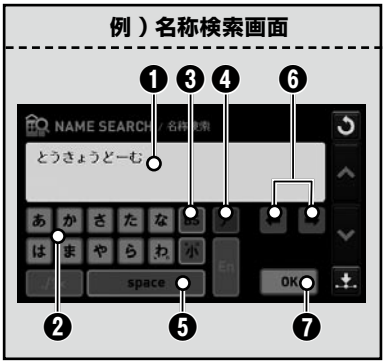
メッセージウィンドウが表示されているときにウィンドウにタッチすると、ウィンドウを閉じて次のステップに進みます。タッチしないときはしばらく経ってから自動的に閉じ、次のステップに進みます。

ルート探索や地点検索を行っているときもメッセージウィンドウが表示されます。このときウィンドウにタッチすると、探索を中止することができます。

ナビゲーションの各画面共通の表示や操作

入力画面共通の表示や操作

入力画面に共通して表示されるボタンやアイコンの意味、操作は次の通りです。



❶入力ウィンドウ

❷文字入力キー

文字を入力します。キーを押していくと、その行のひらがなやアルファベットが順に表示されます。濁音や小さい「っ」はひらがなを入力後に「小」ボタンを押します。

❸バックスペースキー

カーソルの前の 1 文字を消去します。

❹文字切替キー

タッチすると、ひらがな、カタカナ、アルファベット、数字の順に文字入力キーを切り替えます。

❺スペースキー

❻カーソル移動キー

❼ OK ボタン

入力を完了し検索や登録を行います。

リスト表示画面共通の表示や操作

検索結果などリスト表示される画面に共通して表示されるボタンやアイコンの意味、操作は次の通りです。

❶候補リスト

地名や番地などの候補が一覧表示されます。直接候補にタッチして選択します。

❷文字／数字入力キー

市区町村選択画面、地名選択画面では、あかさたな行のキーが表示されます。選択すると候補リストをスクロールし、選択した頭文字の部分へジャンプします。

番地、号検索画面では数字キーが表示されます。直接数字を入力でき、入力された数字に応じて候補リストの絞り込みを行います。

❸検索内容表示ウィンドウ

前ページまでの検索内容が表示されています。数字キーを使っているときは、入力中の数字が表示されます。

❹バックスペースキー

数字キーを使っているときは、入力した文字を 1 文字消します。

ナビを起動する

ナビを起動する

メニューからナビゲーションを起動します。
モード選択画面で、操作モードを選びます。

●ドライバーモード

移動速度が 10km/h以上になるとタッチパネルをロックし、操作できなくなります。

●助手席モード

移動速度に関係なく常時使用可能です。

⚠ 警告

運転中は画面を注視せず、操作を行わない。
運転中は必ず『ドライバーモード』で使用し、運転者は操作を行わないでください。また、画面を注視しないでください。

現在地が表示されます。

地図画面の基本的な使い方

ナビゲーション機能を起動すると、最初に表示されるのが現在地画面です。GPS電波を受信すると現在地を正しく表示し、検索メニューでの現在地もその場所になります。GPS電波を受信できない場合は最後にGPS電波を受信した位置を現在地として表示し、検索時もその場所を現在地として設定します。また、画面に直接触れることで地図をスクロールすることができます。

1 地図を表示する

電源を入れてGPS電波を受信すると、現在地を表示します。地図の表示方向を切り替えたり、案内／表示ボタンの整理などを行うことができます。また、直接地図に触れ、地図をスクロールすることができます。

2 付近の地点情報を調べる、登録する

地図画面からナビゲーションバーを呼び出し、様々な機能を使うことができます。この地点付近の施設を簡単に検索したり、目的地などに設定して詳しいルート設定をすることができます。また、施設や地点を登録することもできます。

3 ナビゲーションメニューを使う、地点検索する

ナビゲーションバーからナビゲーションメニューを呼び出します。詳しい地点検索やルート設定、各種設定、登録したデータの管理などをここから行います。

⚠ 警告

運転したり、歩きながら本製品の操作や注視をしない。

事故の原因となります。特に運転者が運転中に操作することは大変危険です。運転中はドライバーモードで使用し、運転者は操作を行わないでください。

交通規則や実際の道路状況に従って走行する。

ナビゲーションと実際の交通状況が合っていないときに、無理にナビゲーションに従って走行すると事故の原因となります。状況に合わせて走行してください。

現在地画面／地図画面

現在地画面

現在地画面

ナビゲーションを起動すると最初に表示される画面です。GPS電波を受信すると位置を測定し正しい現在地を表示します。GPS電波を受信できないときは、最後にGPS電波を受信した位置を現在地として表示します。

❶地図方向表示／切替ボタン

地図の表示モード（ヘディングアップ／ノースアップ）を表します。タッチして表示方向を切り替えます。

❷現在時刻表示

❸現在地表示

現在地を表示するとともに、GPS電波の受信状態を表示します。矢印が赤色のときはGPS電波を受信しています。

❹地図縮尺表示／切替ボタン

地図の縮尺を表示します。左右の＋－ボタンにタッチすると地図の縮尺を切り替えます。

❺地名表示／道路名表示バー

現在地または地図中心点のエリア名を表示します。道路名称のある大きな道路の場合は、タッチすると道路の名称を表示します。

❻ナビゲーションバーボタン

❼ごみ箱ボタン

画面に表示されているボタンを捨てる（非表示にする）ことができます。

スクロール時の地図画面

❽地図中心点表示

❾中心地点施設名表示

スクロール時、地図中心点に施設があるときはその名称を表示します。

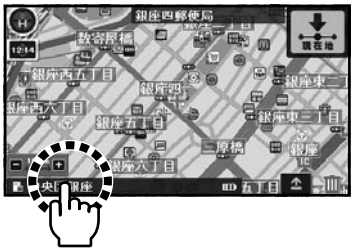
❿現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

現在地画面／地図画面

地図の縮尺を変更する

地図縮尺表示／切替ボタンの＋－ボタンにタッチして縮尺を切り替えます。



地名／通り名を切り替える

地名表示バーにタッチすると、切り替えることができます。 地名、通り名（名称のある道路のみ）の 2 通りの表示ができます。

ボタンを移動する／ごみ箱に捨てる

現在時刻表示などは位置を移動したりごみ箱に入れ非表示にすることができます。非表示にしたいボタンをごみ箱の上までスライドさせ、手を離します。

元に戻すときはごみ箱ボタンをタッチし、元に戻すボタンを選びます。

現在地画面／地図画面

地図のスクロール：中央にしたい点をタッチする

地図画面の中心に表示したい点を１回タッチすると、地図が移動してタッチした点を中心とする地図が表示されます。

地図のスクロール：地図を見たい方向をタッチし続ける

地図が移動し続けます。最終的に画面から離した地点を中心とした地図が画面に表示されます。

移動中は移動方向が矢印で示され、同時にタッチしている地点の緯度経度が画面上に表示されます。

地図のスクロール：地図をなぞる

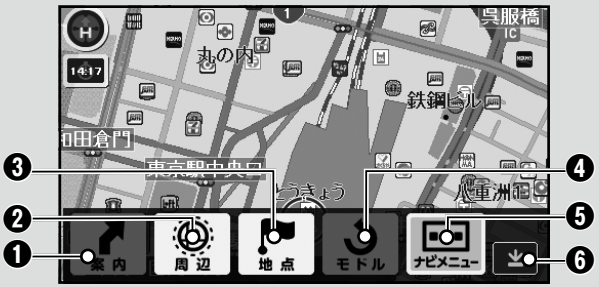
画面上でタッチした地点を、離した地点まで持ってくることができます。

地図の表示方向を切り替える

地図方向表示／切替ボタンにタッチして切り替えます。

現在地画面／地図画面

ナビゲーションバー表示（ 地図画面 ）



ナビゲーションバー

現在地画面や地図画面で、ナビゲーションバーボタンをタッチすると表示されます。この地点や地点周辺に関して、検索や設定を行ったり、ルート案内時には案内についてのメニューを表示します。ナビゲーションメニュー画面への移動もここから行います。

❶案内ポップアップボタン
ルート案内時に使用するポップアップメニューを表示します。使用できるのは案内中のみです。

❷周辺検索ポップアップボタン
周辺検索ポップアップを表示します。

❸地点メニューポップアップボタン
地点メニューポップアップを表示します。

❹戻るボタン
地点検索などを行っているときに、前画面に戻ります。使用できるのは地点検索などを行っているときのみです。

❺ナビゲーションメニューボタン
ナビゲーションメニュー画面を表示します。

❻ナビゲーションバー閉ボタン
ナビゲーションバーを閉じます。

現在地画面／地図画面

周辺検索ポップアップ画面

周辺検索ポップアップ

現在地または任意の地点周辺の施設を検索し、近い順に表示します。リストの施設名をタッチすると地図と地点メニューを表示し、目的に設定したりおこのみスポットに登録できます。

検索できる施設

周辺検索ポップアップ内の施設ジャンルは次の通りです。

●近くのコンビニ　●近くのトイレ
●近くのガソリンスタンド
●近くの駐車場　●近くの病院
●近くの駅

このメニューにないジャンルの施設を検索する

周辺検索ポップアップ内のもっと見るボタンをタッチすると、ナビゲーションメニュー内の周辺検索メニューを開きます。ここでは周辺検索ポップアップにないジャンルの施設が検索できます。

レーダー探索画面

レーダー探索

周辺検索ポップアップでレーダー探索をタッチすると表示されます。現在地を中心にした地図上に、選択されたジャンルの施設の位置を表示します。左右のボタンで候補を切り替えてターゲット表示します。

現在地画面／地図画面

地点ポップアップ画面

地点メニューポップアップ

この地点を起点にしたルート探索や地点登録（おこのみスポット登録）などのメニューが選べます。

地点メニューポップアップの内容

●ここへ行く

目的地に設定し、ルート案内を始めます。

●自宅に帰る

自宅を目的地に設定し、ルート案内を始めます。事前に自宅登録が必要です。

●目的地にする／経由地にする／出発地にする

ルート設定画面を表示し、ルート探索を行います。

●別道路に切り換え

有料道路と側道が並行している場所にいるときに、ナビ上で走行している道路を変更することができます。

●おこのみスポットに登録

おこのみスポット登録画面を表示し、この地点をおこのみスポットとして登録します。

●オービス登録

この地点をオービス地点として登録し、この付近を通過するときに警告を行います。

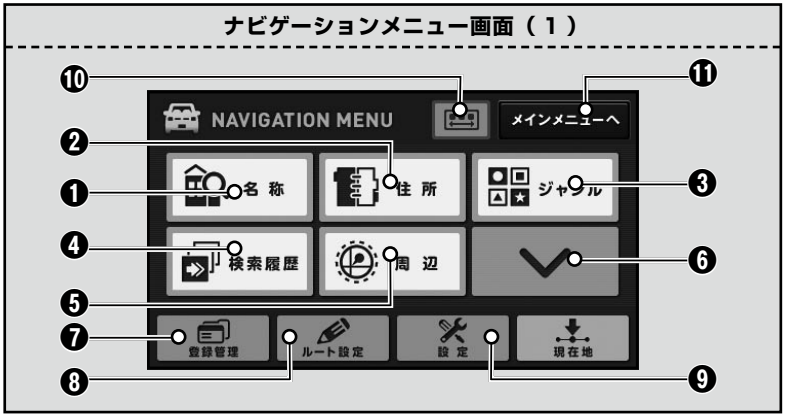
●自宅に登録

この地点を自宅として登録します。登録を行うと「自宅に帰る」ボタンが使えるようになります。

●QRコードを表示

この地点の情報をQRコードにして表示します。携帯電話で読み取ると、携帯電話で地図を表示することができます。携帯電話の機種によっては対応していないことがありますのでご了承ください。

ナビゲーションメニュー画面



ナビゲーションメニュー画面(１)

ナビゲーションメニュー画面は地点検索や設定画面の入り口となります。画面上部に表示されるボタンは地点検索メニュー、画面最下段にされているのは設定・管理メニューです。

❶名称検索ボタン
名称検索画面を開き、目的の施設名を直接入力して施設検索を行います。

❷住所検索ボタン
住所検索画面を開き、住所から地点検索を行います。

❸ジャンル検索ボタン
ジャンル検索画面を開き、カテゴリーとエリアから施設を検索します。

❹検索履歴ボタン
これまで検索した地点や施設をリストアップします。

❺周辺検索ボタン
現在地周辺の施設を、カテゴリー別に検索します。

❻地点検索メニュースクロールボタン
ナビゲーションメニュー画面（２）を開き、他の地点検索メニューを表示します。

❼登録管理メニューボタン
本体などに登録した地点登録データ（おこのみスポット）などを編集する、登録管理メニュー画面を開きます。

❽ルート設定ボタン
ルート設定画面を表示し、ルート探索を行います。

❾設定メニューボタン
画面表示などナビゲーション設定を行う設定メニュー画面を表示します。

❿ボタン配列切替ボタン
この画面の地点検索ボタンの配列を変更します。

⓫ナビゲーション機能終了ボタン
ナビゲーション機能を終了しメインメニューへ戻ります。

ナビゲーションメニュー画面

ナビゲーションメニュー画面（２）

ナビゲーションメニュー画面(２)

ナビゲーションメニュー画面(２)では、(１)で表示されていない地点検索メニューを表示します。

---

❶電話番号検索ボタン

電話番号を直接入力して施設を検索します。

❷緯度経度検索ボタン

緯度経度を直接入力して地点を検索します。

❸スクロールボタン

画面をスクロールしナビゲーションメニュー画面（１）を表示します。

❹地図検索ボタン

地図画面を開いて地図をスクロールし、地点や施設を探します。

❺登録地点検索ボタン

登録したおこのみスポットから地点や施設を検索します。

❻自宅ボタン

あらかじめ登録しておいた自宅地点を表示します。登録していないときは利用できません。

ボタン配列の変更

ボタン配列切替ボタンをタッチすると、地点検索メニューが一覧表示から横一列の配列に変わります。左右のスクロールボタンをタッチすると、画面の外へ隠れているボタンを表示できます。

地点検索と地図の表示

目的の地点を探し、周辺の地図を表示します。ナビゲーションメニューの地点検索メニューから、お好みの地点検索の方法を選びます。

画面を操作して探したい場所を設定し、検索します。

目的の地点が表示されました。ナビゲーションバーと地点ポップアップメニューが開いた状態で表示されます。地点ポップアップメニューからは、検索した地点を目的地などに設定したり、さらにその周辺の施設を検索（周辺検索）することもできます。

地点検索：名称検索

名称検索画面

名称検索

目的の施設の名称を直接入力して検索します。入力できるのはひらがなのみです。名称の一部分だけ入力しても検索は可能です。名称を入力した後、その施設があるエリアを選択すると、該当する施設を表示します。

❶入力ウィンドウ

入力した文字が表示されます。

❷文字入力キー

文字を入力します。あかさたな行のキーを押していくと、その行のひらがなが順に表示されます。濁音や小さい「っ」の入力は、該当のひらがなを入力した後に「小」ボタンを押します。

❸バックスペースキー

カーソルの前の 1 文字を消去します。

❹スペースキー

スペースを入力します。

❺カーソル移動キー

カーソルを移動します。

❻検索ボタン

入力された名称で検索を開始します。

地点検索：住所検索

住所検索画面（ 市区町村選択画面 ）

住所検索画面

丁目、番地、号までの住所を検索し、地図を表示します。市区町村以下の地域名まではリストから選択し、丁目以下はリストから選択するか、直接数字を入力して絞り込んで選択します。また、都道府県以下は代表地点（そのエリアのおおよその中心点）も選択できます。

❶候補リスト

地名や番地などの候補が一覧表示されます。直接候補にタッチして選択します。

❷文字／数字入力キー

市区町村選択画面、地名選択画面では、あかさたな行のキーが表示されます。選択すると候補リストを絞り込みます。

番地、号検索画面では数字キーが表示されます。直接数字を入力でき、入力された数字に応じて候補リストの絞り込みを行います。

❸検索内容表示ウィンドウ

前ページまでの検索内容が表示されています。数字キーを使っているときは、入力中の数字が表示されます。

❹バックスペースキー

数字キーを使っているときは、入力した文字を 1 文字消します。

地点検索：ジャンル検索

ジャンル検索画面（ 大ジャンル選択画面 ）

ジャンル検索画面

見る、遊ぶ、食べるなどの目的別と、観光名所、美術館・博物館など施設ジャンル別の２段階のジャンルに分類されている施設を、地域を指定して検索することができます。

---

❶候補リスト

ジャンルや地名が一覧表示されます。直接候補にタッチして選択します。

地点検索：検索履歴

検索履歴画面（ 目的地履歴画面 ）

検索履歴／目的地履歴

これまで検索したり、目的地にしてルート探索した地点を一覧表示します。いずれも最大20件まで自動記録され、21件目が登録されると、1件目の履歴は削除されます。よく使う地点は地点登録（おこのみスポット登録）を行うことをおすすめします。

❶目的地履歴リスト

これまで地点検索された地点や施設のうち、目的地として設定され、ルート探索を行ったことがある地点や施設を表示します。

ナビゲーションメニュー画面の検索履歴ボタンをタッチしたときに、目的地履歴がない場合は、検索履歴画面が自動的に表示されます。

❷検索履歴ボタン

検索履歴をリスト表示します。

検索履歴として登録されるのは地図表示まで行われた地点や施設です。一覧表示されただけでは履歴は残りません。また、検索履歴リストでは、目的地履歴リストへ入っている地点も重複して表示されます。

❸履歴削除ボタン

選択した履歴を削除します。

地点検索：周辺検索

周辺検索画面（ 大ジャンル選択画面 ）

周辺検索

現在地または地図中心点周辺のスポットをジャンル別に検索します。ジャンル検索同様、目的別・施設別の各段階で候補を絞り込みます。リストの表示順は現在地または地図中心点から近い順になり、距離も表示します。

❶候補リスト

ジャンルや地名が一覧表示されます。直接候補にタッチして選択します。

地点検索：電話番号検索

電話番号検索画面

電話番号検索

店舗や会社など法人電話番号を、直接入力して検索できます。番号が完全に一致した場合のみスポットを表示します。完全に一致する電話番号がデータベースにない場合は表示されません。

❶入力ウィンドウ
入力した文字が表示されます。

❷テンキー
電話番号を入力します。

❸バックスペースキー
カーソルの前の 1 文字を消去します。

❹カーソル移動キー
カーソルを移動します。

❺検索ボタン
入力された電話番号で検索を開始します。

地点検索：緯度経度検索

緯度経度検索画面

緯度経度検索

緯度経度から地点検索し、表示します。数値は日本測地系の値を入力します。

---

❶緯度入力ウィンドウ
入力した文字が表示されます。

❷経度入力ウィンドウ
入力した文字が表示されます。

❸テンキー
数字を入力します。

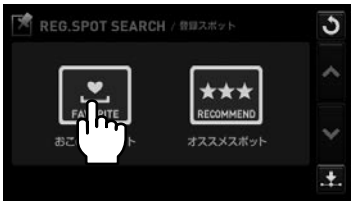
❹バックスペースキー
カーソルの前の 1 文字を消去します。

❺カーソル移動キー
カーソルを移動します。

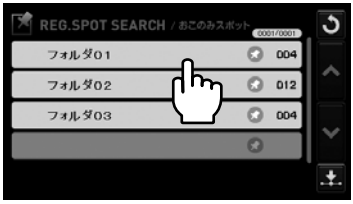
❻検索ボタン
入力された緯度経度で検索を開始します。

地点検索：登録スポットから探す

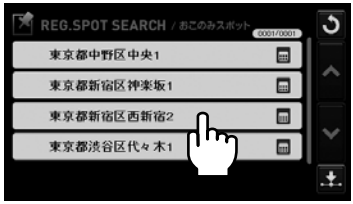
あらかじめ登録した地点（おこのみスポット）からスポットを探します。ナビゲーションメニュー画面から登録スポットボタンを押します。



おこのみスポットフォルダー一覧画面が表示されます。目的の地点や施設が収録されたフォルダを選びます。



おこのみスポットフォルダー一覧画面が表示されます。目的の地点や施設が収録されたフォルダを選びます。



フォルダの内容が一覧表示されます。目的の地点や施設を選びます。

目的が地図上に表示されます。地点ポップアップメニューも同時に表示されるので、目的に応じてメニューを選択します。リストに戻るには、ナビゲーションバーの戻るボタンをタッチします。

MEMO

ナビゲーション機能：ルート探索と案内

ルート案内機能の基本的な使い方

ルート案内を行うには、はじめにどのようなルートを通るのか条件を設定します。設定条件は、目的地や経由地のほか様々な条件を設定できます。ルートを探索したら、デモ走行機能を使ってどのようなルートを走行するのかを確認できます。決定したら、ルート走行を開始します。走行中はさまざまな表示を行いますので、参考にしながら走行してください。

1 ルートを設定する

地点検索機能を使い、出発地、目的地、経由地を設定します。探索モードと移動手段・ルート表示方法を選択し、ルートを探索します。

2 ルートを確認する

探索したルートを確認します。探索結果表示画面では、他の探索モードに切り替えてルートを探索し、比較することができます。デモ走行機能を使えば、走行中の音声案内や表示の切替なども確認することができます。

3 ルート案内を開始して走行する

ルート案内中は様々な画面表示や案内を行います。ボタンや表示の意味を理解し、正しくお使いください。

⚠ 警告

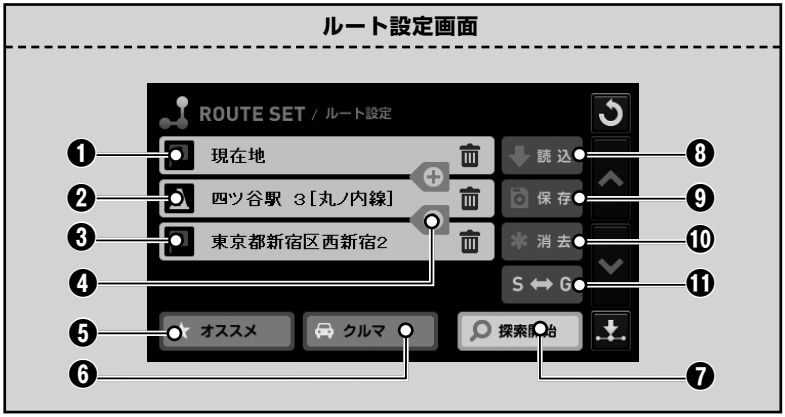
運転したり、歩きながら本製品の操作や注視をしない。

事故の原因となります。特に運転者が運転中に操作することは大変危険です。運転中はドライバーモードで使用し、運転者は操作を行わないでください。

交通規則や実際の道路状況に従って走行する。

ナビゲーションと実際の交通状況が合っていないときに、無理にナビゲーションに従って走行すると事故の原因となります。状況に合わせて走行してください。

ルート設定画面



ルート設定

ルート探索のための条件を設定します。目的地などの地点、探索モード、表示モードなどを選びます。設定した条件を登録したり、登録してある設定を呼び出すことも可能です。また、目的地、経由地、出発地をスライドさせて入れ替えることができます。

❶出発地表示／設定ボタン

タッチすると地点検索メニューが開き、出発地を検索して設定できます。ごみ箱ボタンを押すと現在地に設定されます。

❷経由地表示／設定ボタン

経由地を設定すると表示されます。ごみ箱ボタンで設定を取り消します。

❸目的地表示／設定ボタン

タッチして目的地を設定します。ごみ箱ボタンで未設定の状態になります。

❹経由地追加ボタン

目的地を設定すると表示されます。目的地や経由地、出発地の間の任意の場所へ、経由地を加えることができます。目的地が未設定の状態では表示されません。

❺探索モード設定ボタン

距離や高速道路の通行の有無などルート探索時に優先する道路条件を設定します。

❻走行モード設定ボタン

車、自転車・徒歩など、交通手段に合ったルート探索条件を設定します。

❼ルート探索ボタン

設定した内容でルート探索を開始します。

❽設定読込ボタン

あらかじめ登録したルート設定条件を読み込みます。

❾ルート保存ボタン

設定内容を登録ルートとして保存します。登録したルートは登録管理機能を使って編集することができます。

❿設定消去ボタン

現在設定されている内容をクリアします。

⓫出発地・目的地入替ボタン

現在設定されている条件から、出発地と目的地を入れ替えます。

ルートを設定する

目的地を設定する

目的地表示／設定ボタンをタッチします。

地点検索メニュー画面が表示されます。名称検索、住所検索などの方法を使って目的地に設定する地点を決定します。検索方法は通常の地点検索と同じです。地点検索メニュー画面の現在地ボタンをタッチすると、ルート設定を中止して現在地画面を表示します。

地点画面が表示されるので、地点ポップアップメニューの目的地にするボタンをタッチします。目的地の位置の微調整が必要なときは、地図に直接触れてスクロールしてください。その場合はナビゲーションバーの地点ボタンをタッチし、ポップアップを表示させてから目的地にするボタンをタッチし、設定します。

設定が終わると自動的にルート設定画面に戻ります。目的地表示／設定ボタンには、選択した地点の名称が表示されます。
一度選択した地点を変更するときは、目的地表示／設定ボタンにタッチしてもう一度設定します。設定を消去したいときは、目的地表示／設定ボタン内の、地点名称の右のごみ箱ボタンをタッチします。

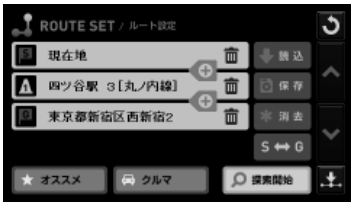
出発地を設定する

現在地以外の場所を出発地として設定するときは、出発地表示／設定ボタンをタッチして設定します。GPS電波を受信していないときの現在地は、最後にGPS電波を受信し測位を行った場所になっていますのでご注意ください。

ルートを設定する

経由地を設定する

経由地を設定するときは、経由地追加ボタンをタッチします。経由地追加ボタンは、目的地を設定すると表示されます。目的地を設定していない状態では、経由地追加ボタンはありません。



設定が終わると自動的にルート設定画面に戻ります。経由地表示／設定ボタンが表示され、設定した地点の名称が表示されます。経由地は最大 8 カ所まで設定できます。また、いったん設定した目的地や経由地、出発地は、各表示／設定ボタンをドラッグすることで順番を入れ替えることができます。

登録ルートを読み込む

あらかじめ保存しておいた登録ルートを読み込み、地点検索などを行わなくてもルート設定を行うことができます。設定読込ボタンをタッチすると保存されているルートがリスト表示されるので、目的のルートを選択すると、探索条件が設定されます。

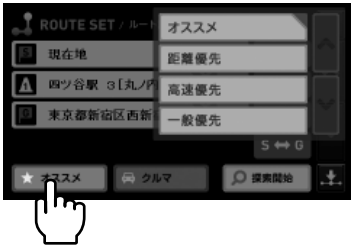
ルートを保存する

ルート保存ボタンでルート設定内容を保存しておくことができます。このとき、ルート設定で出発地を現在地にしている場合は、設定時の住所で保存されます。ルート設定が終わったら、ルート保存ボタンをタッチします。保存したルートは登録管理から編集することができます。

出発地と目的地を入れ替える

出発地・目的地入替ボタンをタッチすると、表示されている目的地と出発地を入れ替えることができます。

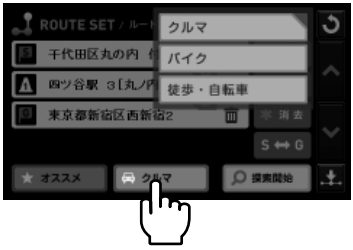
ルートを設定する



探索モードを選択する

探索モードボタンをタッチし、探索モードを設定します。ボタンをタッチすると探索モードポップアップが表示されるので、その中から選択します。次の 4 種類からひとつを選びます。

●オススメ：距離や時間に加え、分かりやすさなども考慮した最適ルートを探索します。
●距離優先：走行距離がなるべく短くなるルートを探索します。
●高速優先：できるだけ高速道路を通るルートを探索します。
●一般優先：できるだけ有料道路を通らず、一般道を使うルートを探索します。



走行モードを選択する

走行モードボタンをタッチし、走行モードを設定します。ボタンをタッチすると探索モードポップアップが表示されるので、その中から選択します。次の 3 種類からひとつを選びます。

●クルマ：一方通行などの規制を考慮してルートを探索します。
●バイク：一方通行などを考慮した上で、走行距離がなるべく短くなるルートを探索します。
●徒歩・自転車：高速道路を避け、一方通行などの規制は考慮しないルートを探索します。
このモードで案内中は設定にかかわらずオートリルートは行いません。

ルートを探索する

設定を終えたら、ルート探索ボタンをタッチするとルート探索を開始します。探索を中止したいときは、探索中に画面に表示される「ルート探索中」のメッセージウィンドウにタッチします。

ルートを比較する

ルート探索結果画面

ルート探索結果の表示

ルート設定時に選択した探索モードでの探索結果を表示します。探索条件表示／切替ボタンで選択することによって、他の条件でのルート探索も簡単に行うこともできます。ルート探索終了後、操作をしないまま約10秒経過すると自動的にルート案内を始めます。

❶走行情報表示

目的地までの走行距離と目安となる走行時間を表示します。

❷走行ルート

探索されたルートです。一般道を走行する部分は緑色、有料道路は赤色で示されます。

❸探索条件表示／切替ボタン

ルート探索条件を切り替えてルートの比較ができます。オレンジ色で表示されているボタンが地図に表示されている走行ルートの探索条件です。

❹案内開始ボタン

現在地画面からルート案内を始めます。現在地でない場所を出発地にしているときは自動的に現在地からスタートします。

❺デモ走行ボタン

デモ走行を行います。デモ走行中は画面左側に表示されるDEMOボタンをタッチすると、デモ走行を中止でき、スピード調節ボタンで進行速度を調節できます。

ルートを比較する

デモ走行で案内を確認する

実際の走行でどのような案内を行うのか、事前にシミュレーションを行うことができます。

デモ走行ボタンにタッチします。

交差点やレーン案内などの画面表示や音声案内を聞くこともできます。デモ走行ボタン、スピード調節ボタン以外の機能はルート走行画面と同じです。

デモ走行ボタンをタッチすると、デモ走行を中止してルート探索結果画面に戻ります。スピード調節ボタンでデモ走行の進行速度を調節できます。減速ボタンを最大限に押すと、進行を止めることができます。

ルート案内を始める

案内開始ボタンにタッチします。

現在地画面が表示され、ルート案内が始まります。現在地ではない場所を出発地にしてルート探索を行ったときは、オートリルート機能が働き現在地からスタートします。オートリルート機能をオフにしていたり、GPS電波の届かない場所ではオートリルートは機能しません。

ルート案内中の表示や機能

通常表示

ルート案内の基本画面です。初期設定では案内情報ウィンドウとレーン情報表示が常時表示されます。レーン情報優先表示にしているときは優先表示は行わず、レーン情報のみが表示されます。

2 画面表示

方向転換を行う交差点や高速道路では 2 画面表示を行います。それぞれ交差点詳細地図やハイウェイマップをタッチすることで、2 画面表示を中止できます。このときは案内情報ウィンドウの枠が水色になり、案内情報ウィンドウをタッチすると再び 2 画面表示を行うようになります。

青看板表示

青看板表示（一般道案内標識表示）があらわれるときは、案内情報ウィンドウの上に重ねて表示されます。青看板表示は移動させることもでき、ごみ箱に入れたり、あらかじめ表示しないよう設定しておくことも可能です。

案内ポップアップメニュー

ルート走行中もナビゲーションバーのメニューが使用できます。案内ポップアップメニューからは、ルートの再探索や経由地のスキップ、ルートの確認機能が使えます。
また、周辺検索、地点ポップアップメニューも使用できます。

オートリルート機能

ルート走行中にルートから外れた場合、自動的にルートを再探索して案内ルートを探索する機能です。オートリルート機能は、案内設定よりオフにすることもできます。また、案内ポップアップメニューの「ルートを再探索」は、任意の地点から手動でリルートを行うものです。なお、徒歩・自転車モードでの案内中は、設定にかかわらずオートリルートは行いません。

ルート案内を中止したいときは

中止ボタンをタッチすると、ルート案内を中止し現在地画面を表示します。

ルート案内画面：通常表示

ルート案内画面（通常表示）

ルート案内画面（通常表示）

初期設定で表示される基本のルート案内画面です。画面右の案内情報ウィンドウに、次に現れる案内ポイント（右左折や経由地、目的地など）や走行情報が表示されます。案内情報ウィンドウは設定を変えることで表示しないようにもできます。

❶案内情報ウィンドウ

次案内ポイントの情報を常時表示します。表示内容は次の通りです。

●案内ポイント名称

交差点や有料道路入口、経由地など名称を表示します。

●案内方向

右左折を行う交差点などは、方向を矢印で表示します。

●案内ポイントまでの残距離

●目的地への予想到着時刻

●目的地までの距離

表示設定でレーン情報優先表示を選択しているときは、案内情報ウィンドウは表示しません。

❷レーン情報表示：レーン情報表示交差点

推奨レーン表示をしている交差点の名称と、交差点までの距離を表示します。

❸レーン情報表示：推奨レーン表示

矢印の数がレーン数を示しています。推奨レーンはオレンジ色の矢印で表示されます。レーンがない道路では空欄になります。

❹案内中止ボタン

タッチしてルート案内を中止し、現在地画面に戻ります。

ルート案内画面：レーン情報優先表示

ルート案内画面（ レーン情報優先表示 ）

ルート案内画面（レーン情報優先表示時）

案内設定の案内優先表示で、レーン情報優先を選択しているときの画面表示です。案内情報ウィンドウに表示されていた情報は次案内表示などに分散して表示されます。レーン案内は表示方法を切り替えることで最大５つ先の交差点まで表示できます。

❶レーン情報表示：

レーン情報表示交差点名称

推奨レーン表示をしている交差点の名称と、交差点までの距離を表示します。

❷レーン情報表示：推奨レーン表示

矢印の数がレーン数を示しています。推奨レーンはオレンジ色の矢印で表示されます。

❸次案内ポイントウィンドウ

次の案内地点を表示します。

❹到着予想表示

目的地までの到着予想時間と残距離に加え、全行程中の現在位置をレベルゲージで表示します。到着予想時間部分をタッチすると、レベルゲージを折りたたむことができます。

❺次案内表示

右左折ポイントの方向とポイントまでの距離を表示します。

レーンガイド画面（ 切替 ）

レーンガイド表示の切り替え

レーン案内は通常、次の交差点１箇所について表示されています。このときは同時に交差点名も表示されます。

次案内ポイントウィンドウをタッチしていくと、最大５箇所先までレーンを表示できます。２箇所以上のレーン案内を行っているときは推奨レーンのみの表示となりますが、このとき推奨レーンにタッチすると、交差点名表示に切り替えることができます。

ルート案内画面：ポップアップメニュー表示

ルート案内画面（ ナビゲーションバー:案内ポップアップ表示 ）

ルート案内中のナビゲーションバー内の機能

ルート案内中はナビゲーションバーの案内ポップアップボタンが選択できるようになります。案内ポップアップメニューからはルート案内の中止やルートの確認などができます。

❶案内ポップアップメニュー

ルート案内に関するポップアップメニューを表示します。

❷案内ポップアップメニュー：
案内を中止する

案内を中止し現在地画面に戻ります。

❸案内ポップアップメニュー：
経由地をスキップ

次に予定されている経由地をスキップし、ルートを探索し直します。

❹案内ポップアップメニュー：
ルートを再探索

任意でリルートを行いたいときにタッチすると、ルートを探索し直します。

❺案内ポップアップメニュー：
ルートを確認

ルート探索結果画面に表示されるものと同じルート全体図を表示します。

地点ポップアップメニュー

ルート案内中の地点ポップアップメニュー

ルート案内中も現在地画面と同様、地点ポップアップメニューが使用できます。別道路に切り換えボタンは、並行する道路がある場所を走行中にタッチすると、ナビゲーション内の走行位置をもう一方の道路へ切り換えることができます。

ルート案内画面：交差点拡大図表示

ルート案内画面（ 交差点拡大図表示 ）

交差点拡大図表示

表示設定で交差点拡大図表示を行うよう設定しているときは、交差点手前で自動的に交差点拡大図が表示されます。この表示は、表示中に一時的に表示しないようにもできます。

❶交差点拡大図

❷交差名表示

この交差点の名称を表示します。

❸推奨レーン表示

矢印の数がレーン数を示しています。推奨レーンは　オレンジ色の矢印で表示されます。

❹右左折ポイント残距離

右左折ポイントまでの距離を表示します。

❺右左折タイミング表示

右左折するタイミングをレベルゲージで表示します。

交差点拡大図表示なし

交差点拡大表示をしない設定

交差点拡大図の表示中に拡大図にタッチすると、拡大表示図をしない設定に切り替わります。このとき、案内情報ウィンドウまたは次案内ポイントウィンドウのふちが水色になっています。この状態で案内情報ウィンドウまたは次案内ポイントウィンドウにタッチすると、次の交差点拡大図表示を行うポイントから、ふたたび交差点拡大表示が行われます。

ルート案内画面：ハイウェイマップ表示

ルート案内画面（ハイウェイマップ表示時）

ハイウェイマップ表示

高速道路など有料道路を走行しているときは、画面の右半分にハイウェイマップを表示します。ハイウェイマップでは次に通過する道路上のポイントを表示します。

❶ハイウェイマップ表示

❷道路情報表示

次に通過する高速道路上のICやPA、料金所などのポイントの名称と距離を順に表示します。画面下側の方から近い順に表示されます。

❸道路名表示

走行中の道路の名称を表示します。

❹道路情報スクロール

既に通過したポイントや、これから通過するポイントをスクロールして見ることができます。

❺道路情報現在地ボタン

スクロールした道路情報を現在位置からの表示にリセットします。

分岐案内画面

分岐案内

道路の分岐・合流地点では分岐地図が表示されます。

ナビゲーション機能：登録管理

登録管理機能の基本的な使い方

ナビゲーションには様々な情報を登録したり、記録を取ることができます。記録できる内容は、自宅地点やおこのみスポット（登録地点）などの各種の地点登録情報、SDカードに収録したナビゲーション機能拡張データ、あしあとログ（GPS軌跡）などの記録に大別されます。ここではそれらの情報の管理や設定を行います。

1 自宅登録のクリア

自宅として登録した地点情報を消去します。

2 ボタンやアイコンの表示初期化

ごみ箱機能などで移動したり非表示にしたボタン類を出荷時の状態に戻します。

3 登録したオービス地点の管理

登録したオービス地点を地図上で確認したり、消去します。

4 おこのみスポットの管理

おこのみスポット（登録地点）を地図上で確認できます。おこのみスポットはフォルダに分けて整理します。また、スポットにメモや写真などの詳細な情報を記録したり、付近を走行しているときに登録した音声が流れるようにすることもできます。

5 登録ルートの管理

よく使うルート設定を登録しておくと、かんたんにルート設定を行うことができます。ここでは登録されたルート設定に名前を付けたり、設定の消去や変更を行います。目的地や走行モードなどの内容の設定や、登録自体はルート設定画面から行います。

6 SD カード内のデータ管理

SDカードに収録した案内音声などのナビゲーション機能拡張データを確認したり、消去できます。

7 ログデータの取得と管理

あしあとログ（GPS軌跡）とエコドライブモードの設定を行います。エコドライブモードはエコドライブ診断と燃費計算の 2 つの機能が搭載されています。

SDカードとダウンロードデータの使用について

一部の登録機能を使用したり、ナビゲーション機能拡張データを使用するにはSDカードが必要です。

SDカードでできること

本製品はSDカードへ記録したナビゲーション機能拡張データを使い、さらに詳しいデータや地図などを使ってナビゲーションを行ったり、走行軌跡をSDカードへ記録できます。

SDカードを使う前に

ご使用前にPCなどでフォーマットを行ってください。次ページを参照して、PCでSDカード内にフォルダを作るか、フォーマットしたSDカードを本体に装着してナビゲーションを起動すると、フォルダが作成されます。フォルダ内の指定の場所へデータを書き込んだ後、SDカードを本体へ装着して起動してください。

⚠ 警告

SDカードの読み込み中にSDカードを本体から取り出さない。

データが破損したり、消失する恐れがあります。必ず本体の電源を切ってから取り出してください。ナビゲーション動作中にSDカードを取り出すと、ナビゲーションは自動的に終了し、ホーム画面に戻ります。

記録したデータが損傷したり消失して使用できなくなった場合でも、データの復元や損傷したデータへの補償はいたしかねますのでご了承ください。

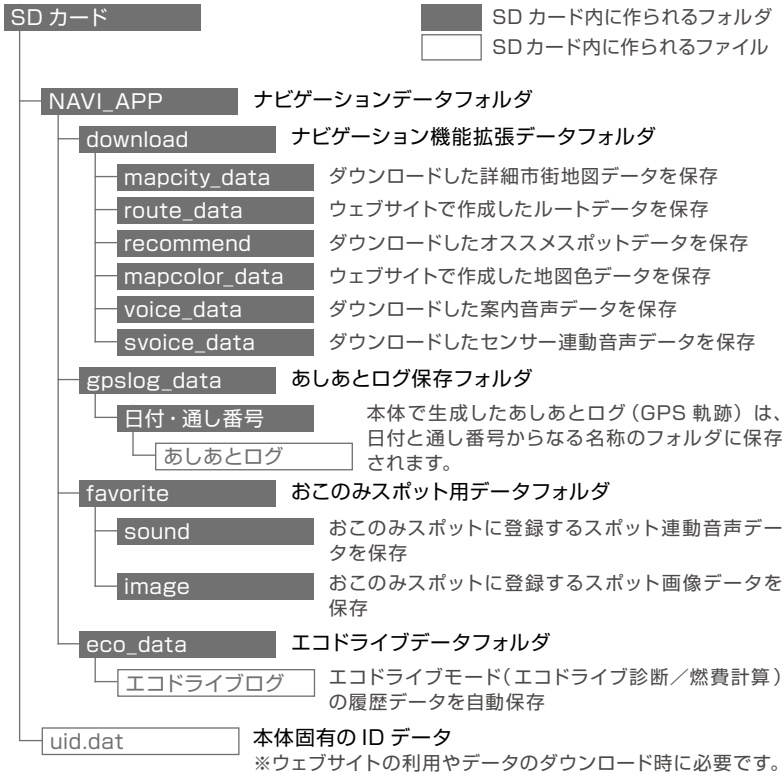
SDカード内のデータのバックアップを取る。

SDカードスロットに指定以外のメディアを差し込まない。

SDカードとダウンロードデータの使用について

SDカード内のフォルダディレクトリー覧

お使いになるSDカードを本体に挿入してナビゲーションを起動すると、内部にフォルダやファイルが自動作成されます。ダウンロードしたナビゲーション機能拡張データや登録用データは、それぞれSDカード内の指定のフォルダに保存して使用します。



ナビゲーション機能拡張データのダウンロード

ウェブサイトにて提供されているナビゲーション機能拡張データ（有料・無料）をダウンロードして使用できます。また、ユーザー同士での登録スポット情報をシェアしたりといったサービスを提供しています。詳しくは次のサイトをご覧ください。

クラリオンウェブサイト

http://www.clarion.com/jp/ja/DrivTrax/download.html

登録管理メニュー画面

登録管理メニュー画面（１）

登録管理メニュー

ここから各機能の設定・編集画面を開き、設定を行います。

❶自宅管理画面表示ボタン

管理画面を開き自宅登録を消去（初期化）します。

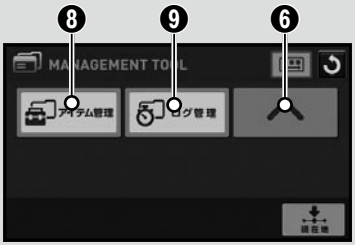
❷アイコン並び替え画面表示ボタン

管理画面を開き、地図画面上で非表示にしたり並び替えたアイコンを初期状態に戻します。

❸オービス管理画面表示ボタン

登録したオービス地点を確認したり、登録を消去します。

登録管理メニュー画面（２）



❹おこのみスポット画面表示ボタン

おこのみスポット（登録スポット）の編集を行います。

❺登録ルート編集ボタン

登録ルートの呼出や編集を行います。

❻スクロールボタン

❼ボタン配列切替ボタン

この画面のボタンの配列を変更します。

❽アイテム管理ボタン

SDカードへ収録したダウンロードコンテンツを確認したり、消去します。SDカードが装着されていないときは使用できません。

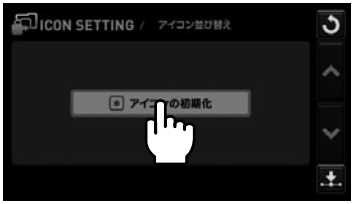
❾ログ管理ボタン

あしあとログ（GPS軌跡）の取得やエコドライブモードを設定します。

自宅管理／アイコン並び替え／オービス管理

自宅管理（自宅登録のクリア）

地点ポップアップメニューから登録した自宅地点の登録を解除します。「自宅登録の初期化」をタッチして消去します。

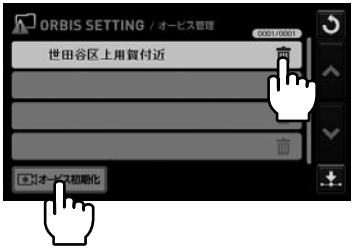


アイコン並び替え（移動したボタン位置の初期化）

ごみ箱へ移動させたり位置を動かしたボタンを、工場出荷状態の位置に戻します。「アイコンの初期化」をタッチして元に戻します。

オービス管理

地点ポップアップメニューから登録したオービス地点がリスト表示されています。リストの地名をタッチすると登録した地点を地図上で見られます。



リストの地名にあるごみ箱のボタンをタッチすると、その登録地点を消去します。オービス初期化をタッチすると全ての登録を消去します。

おこのみスポットを見る

登録したおこのみスポットを地図上で見る

おこのみスポット画面フォルダー覧画面を開き、見たいおこのみスポットが登録されているフォルダを選びます。

選択したフォルダに登録されているのおこのみスポットがリスト表示されます。表示したいスポット名をタッチします。

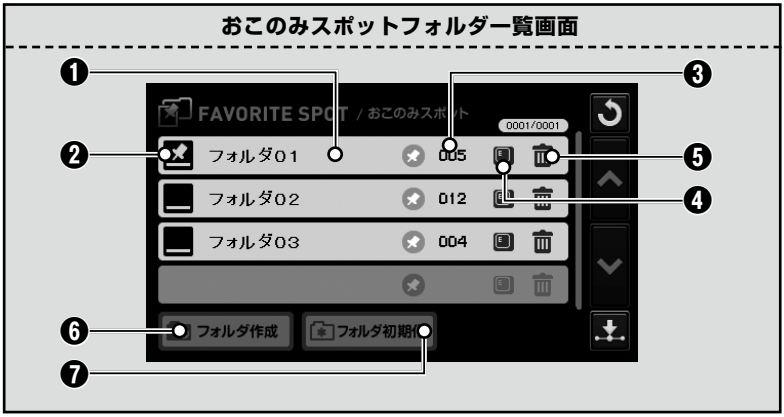
選択したおこのみスポットが地図上に表示されます。地点メニュー、ナビゲーションバーが開いていますので、そのまま目的地などに設定してルート設定などを行うことができます。

登録したおこのみスポットの情報を見る

情報を見たいおこのみスポットの編集ボタンを押します。

おこのみスポット詳細画面が開き、登録した情報の詳細を表示したり、編集できるようになります。

おこのみスポットを編集する



おこのみスポットフォルダー一覧画面

おこのみスポットはフォルダに分類し、管理します。ここではおこのみスポットをフォルダ単位で管理、編集、削除を行います。地図画面で地点ポップアップメニューから「おこのみスポットを登録する」を選ぶと、この画面を表示します。

❶おこのみスポットフォルダ
フォルダ名をタッチするとそのフォルダに登録されているおこのみスポットリスト画面を開きます。

❷おこのみスポットアイコン表示
おこのみスポットの地図上でのアイコン表示の有無を設定します。表示設定されたフォルダに入っているスポットが、各スポットごとに登録されたアイコンで地図上へ表示されます。

❸おこのみスポット件数表示
フォルダに保存されたスポット件数です。

❹フォルダ名編集ボタン
フォルダの名称を変更します。

❺フォルダ削除ボタン
フォルダを削除するとフォルダ内に登録されているスポットが全て削除されます。

❻フォルダ作成ボタン
新規フォルダを作成します。

❼フォルダ初期化ボタン
おこのみスポットフォルダを全て削除し、初期化します。登録されていたおこのみスポットも全て削除されます。

❽おこのみスポット
タッチして地図を表示します。

❾おこのみスポット編集ボタン
おこのみスポット編集画面を開きます。スポットの登録名を変更したり、メモや画像、音声ファイルの編集をおこないます。

❿おこのみスポット削除ボタン
このスポットを削除します。

おこのみスポットを編集する

おこのみスポット編集画面

おこのみスポット画面

おこのみスポットの詳細情報を編集します。

❶おこのみスポット名称表示

❷おこのみスポットアイコン選択

このスポットを地図上であらわすときに使います。好みのものに変更できます。

❸おこのみスポット
連動音声ファイル表示

音声ファイルを登録すると、スポットに近づいたときに登録音声を再生します。

❹おこのみスポット
音声連動ファイル削除

❺おこのみスポット画像表示

登録した画像ファイルが表示されます。

❻おこのみスポット画像ファイル削除

❼おこのみスポット情報

登録したおこのみスポットにコメントや情報をメモすることができます。

スポット新規登録時の編集画面

新規登録時の編集画面

おこのみスポットの新規登録時には、スポット名には地点の住所などが自動で入ります。スポット名の変更とメモの記入は新規登録時におこなうことができます。

音声ファイルと画像ファイルの登録は、いったんおこのみスポットを登録した後に改めて編集画面を開き、登録してください。

おこのみスポットを編集する

おこのみスポットの新規登録

●登録の流れ
登録したい地点を地図で表示する→登録ボタンを押す→登録先のフォルダを指定する（または新規作成する）→登録する
●登録先のフォルダ
あらかじめ作成しておくほか、スポットを登録する過程で新しく作ることもできます。
●登録情報の編集
新規登録時には地点名を変更したり、メモを入力できます。画像の登録などはいったんスポットを登録した後、あたらめて行います。

登録したい場所で、ナビゲーションバーから地点をタッチし、地点ポップアップメニューからおこのみスポットに登録を選択します。

保存したいフォルダを指定するか、新規でフォルダを作成して、登録先を指定します。フォルダがまったく作られていないときは新たに作成してください。

登録先のフォルダを選ぶとスポット編集画面になります。おこのみスポットの名称を変更したり、メモを追加することができます。登録名を変えるときはスポット名の欄を、メモを入力するときはその下のメモ欄をタッチすると入力画面になります。

文字を入力したらOKボタンを押します。おこのみスポット編集画面に戻ると入力した内容でスポットが登録されます。

おこのみスポットを編集する

おこのみスポットの編集

●編集できる内容
・スポット名の変更　　・スポット情報の入力や削除　　・アイコンの変更
・スポット画像の追加や削除　　・スポット連動音声の追加や削除

●アイコンの変更（画面上で選択）
地図上に表示するアイコンを、設定したアイコンに変更できます。

●スポット画像（SDカードに入れた画像から登録）
地点付近や建物の写真、周辺のイラスト地図などを登録しておくと便利です。
・登録できる画像の形式
　BMPファイルまたはJPEGファイル（容量3MBまで）

●スポット連動音声（SDカードに入れた音声から登録）
お好みの音声や音楽を登録しておくと、地点付近で登録した音声が流れます。
・登録できる音声の形式
　サンプリング周波数：44.1kHz／32kHz／22.05kHz
　チャンネル：ステレオ／モノラル　　量子化ビット：16ビット
　形式　　：WAVファイル　　容量：2.9MBまで

スポット名・メモを編集する

スポット名やメモの内容を変更するには、それぞれの欄にタッチします。文字入力画面が表示されるので、文字を入力してOKボタンを押すと変更できます。

おこのみスポットアイコンを変更する

アイコンをタッチします。

アイコンリストが表示されます。好みのアイコンを選ぶと、編集画面のアイコンが変更されます。

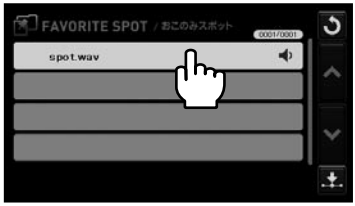
おこのみスポットを編集する

おこのみスポットフォルダー覧画面で、このスポットが入っているフォルダのアイコン表示をオンにします。フォルダ内のスポットが登録したアイコンで地図上に表示されます。

おこのみスポット連動音声を登録する

あらかじめSDカードの「favorite」フォルダ内の「sound」フォルダに登録する音声を収録し、ナビゲーションを起動します。

おこのみスポット編集画面を開き、音声ファイル表示ボタンをタッチします。



登録できる音声ファイルが表示されます。登録したい音声にタッチすると、スポット連動音声が登録されます。

スポット連動音声が登録され、表示されました。

おこのみスポット画像を登録する

あらかじめSDカードの「favorite」フォルダ内の「image」フォルダに登録する画像を収録し、ナビゲーションを起動します。

スポット連動音声と同様、スポット登録画像の表示エリアにタッチして登録する画像を選ぶと、スポット画像が登録されます。

登録ルートを使う・編集する

登録したルートを使う

ルート設定画面から使用したいルートを選びます。

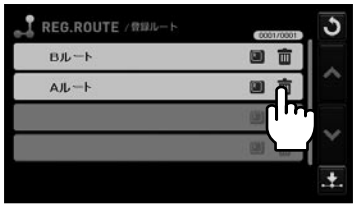
登録されている内容でルート設定画面が表示されますので、そのままルート探索を行うことができます。登録内容を変更したいときは、変更・追加を行った後、ルート保存ボタンをタッチすると、新規ルートとして保存されます。

登録ルートの名称を編集する

ルート設定画面でルートを登録すると、ルートの名前は自動で登録されます。ここでは登録ルートの名称を変更することができます。

編集したい登録ルートの登録ルート名称編集ボタンをタッチします。

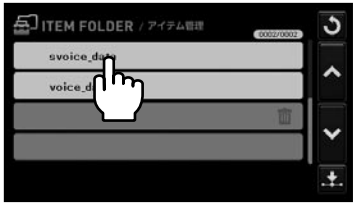
入力画面に切り替わりますので、新しいルート名を入力し、「OK 」をタッチしすると、名称が変更されます。



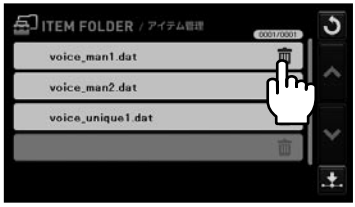
登録ルートを削除する

ごみ箱ボタンをタッチして削除します。

アイテム管理



SDカード内にあるナビ用オプションデータを確認したり、消去することができます。データはフォルダごとに管理されていますので、目的のデータが入っているフォルダを開きます。



フォルダ内のデータがリスト表示されます。ごみ箱ボタンを押すとSDカードからデータが削除されます。

データの削除について

●いったん削除するとSDカードから消去され、本体で使うことができなくなります。

●いったん削除したデータは、本体から復元したりSDカードから復旧することはできません。復元するにはPCなどへバックアップしておいたデータを再度SDカードへインストールする必要があります。オプションデータはバックアップを取ってから本体でお使いいただくことをおすすめします。

●有料のオプションデータを誤って削除した場合でも、再ダウンロード制限を越えてデータをダウンロードすることはできません。あらかじめご了承ください。

ログ管理：あしあとログの記録

あしあとログ（GPSログ）記録機能

●「あしあとログ」とは

走行軌跡（GPSの緯度経度および時刻情報）の記録です。記録したあしあとログデータは、本体の画面上で走行を再現したり、MAPLUSオフィシャルサイト等で利用できます。

●GPS電波を受信できない場所ではあしあとログは記録されません。また、受信状態やGPSの特性から、実際に走行した場所からずれた場所が軌跡として記録されることがありますのでご了承ください。

●あしあとログはSDカード内へ保存します。SDカードがないときは記録できません。

●記録可能なデータ量の目安

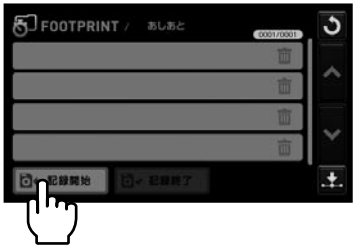
約 1.5MB（1秒間隔で記録／1時間当たり）

記録されるデータの容量は記録間隔の設定、走行した場所のGPS電波の受信状態により異なります。SDカードの空き容量が足りないときは自動的に記録が停止しますのでご注意ください。

●SDカードが取り出されたり本体の電源を切ったときは自動的に記録を終了します。その後再起動しても記録の自動再開は行いません。再度記録開始操作をおこなってください。

あしあとの記録開始と終了

ログ管理画面からあしあとログボタンをタッチし、あしあとログ記録画面を開きます。



「記録開始」をタッチするとあしあとがSDカードへ記録されます。終了するときは「記録終了」をタッチします。記録を終了するごとにあしあとのファイルが作られます。
あしあとの記録を消去するときはごみ箱ボタンを押します。

あしあとログの再生

ログ管理画面から再生したいログを選ぶと、地図画面が表示され、ログの再生が始まります。再生を中止したいときは地図画面の「SIMU」ボタンをタッチしてください。

ログ管理：エコドライブモード（エコドライブ診断）

エコドライブ診断

●「エコドライブ診断」とは
GPSの走行軌跡から急発進、急ブレーキを検知し、表示と音声で警告します。警告回数を表示するほか、挙動安定性などをポイント化して表示します。

●診断基準
診断の厳しさを3段階で設定できます。
なお、急発進の判定は財団法人省エネルギーセンター「Recoo（レクー）」が提唱する「エコドライブ10のススメ」の「ふんわりアクセル『eスタート』」の基準に準拠し診断します。

●エコドライブモードは低燃費効果を保証するものではありません。あくまで参考情報としてお使いください。実際の走行時は道路交通法を遵守し、実際の交通規制や道路状況に合わせて安全運転を行ってください。

エコドライブモードを使う

ログ管理画面からエコドライブを選び、エコドライブ画面を開きます。

エコドライブ診断を行う

開始ボタンを押すと「Recoo」の確認画面が表示されます。OKを押してエコドライブ診断がスタートします。

いったん終了するときは「一時停止」を押すと、判定と警告が止まります（履歴は保存されます）。リセットを押すとこれまでの履歴がクリアされます。

走行中は地図画面上にエコドライブアイコンが表示されます。急発進や急ブレーキを検知すると、アイコンのマークが変わり、音声で警告します。また、ドライビングをポイント化して表示します。ポイントは100点からスタートします。

エコドライブアイコンをタッチするとエコドライブ画面を表示することができます。

ログ管理：エコドライブモード（エコドライブ診断）

エコドライブ画面

エコドライブ画面

エコドライブ判定の開始や終了を設定するとともに、現在の成績を表示します。

---

❶ eスタート成功率表示

❷ 挙動安定性表示

❸ 警告回数表示

急アクセル、急ブレーキの累積警告回数が表示されます。

❹ 開始ボタン

エコドライブ診断を開始し、警告回数のカウントを始めます。

❺ 一時停止ボタン

エコドライブ診断と警告回数のカウントを停止します。これまでの記録は消去されません。

❻ リセットボタン

これまでの記録を消去します。

❼ 燃費計算画面表示ボタン

燃費計算画面を開きます。

❽ 判定レベル切替ボタン

現在の判定レベルを表示します。タッチすると判定レベルを切り替えることができます。数字が大きいほど判定は厳しくなります。

ログ管理：エコドライブモード（燃費計算）

燃費計算

●走行距離と給油量を入力し、燃費の計算ができます。また、履歴をSDカードへ記録します。

●SDカードがないときは利用できません。

燃費計算を行う

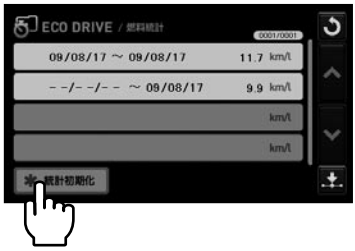
エコドライブ画面から燃費計算ボタンをタッチし、燃費計算画面を開きます。

走行距離と給油量を入力します。それぞれ入力窓をタッチすると入力できます。以前に入力したことがあるときは、前回の総走行距離があらかじめ表示されているので、違う場合はタッチして修正します。

全て入力したら燃費入力窓をタッチします。燃費が計算されます。

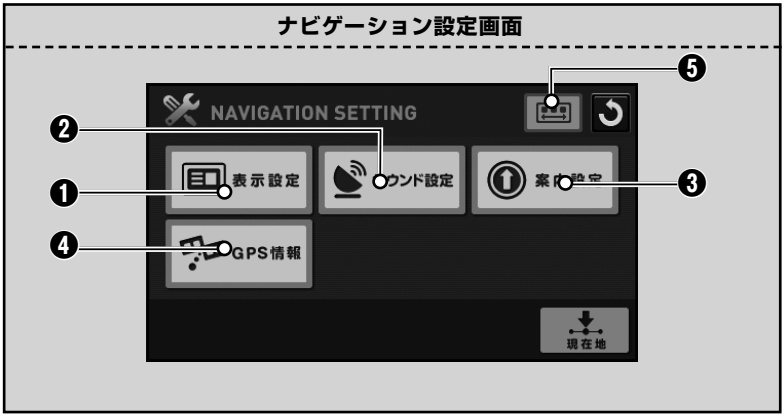
今回入力分の燃費が表示されます。

燃費統計ボタンをタッチすると、燃費の履歴が表示されます。



履歴をすべて消去するときは統計履歴初期化ボタンをタッチしてください。

ナビゲーション設定画面



ナビゲーション設定画面

ナビゲーション設定は、地図上の表示を設定する表示設定、音声に関することを設定するサウンド設定、ルート探索や案内中のナビゲーションの動作を設定する案内設定に分かれています。また、GPSの受信状態を見ることもできます。

❶表示設定ボタン

地図の方向や、文字の大きさなど画面表示の設定を行います。

❷サウンド設定ボタン

音量の調節や選択、案内の頻度など音声の設定を行います。

❸案内設定ボタン

案内のタイミングやリルートなどルート案内に関する設定を行います。

❹GPS情報ボタン

本体で検知しているGPS衛星の配置と、それぞれの衛星からのGPS電波の受信状態を表示します。

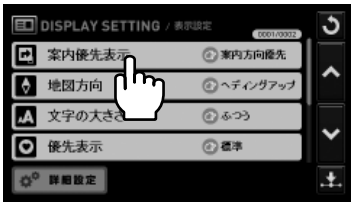
❺メニュー表示切替ボタン

メニューの表示モードを切り替えます。

ナビゲーション設定

ナビゲーション設定

ナビゲーション設定画面から設定したいメニューを選択します。



設定内容がリスト表示されるので、変更したい項目をタッチします。

変更したい項目の左右の設定変更ボタンで任意の設定に変更し、前画面に戻るか現在地画面に戻ると設定されます。

表示設定：通常設定

初期状態では「➡」マークの選択肢が設定されています。

設定項目	選択肢	設定内容
案内優先表示 [*1]	➡案内方向優先 レーン情報優先	交差点や経由地などの案内ポイントの表示方法を設定します。 案内方向優先　レーン情報優先
地図方向	➡ヘディングアップ ノースアップ	地図画面の表示方向を設定します。ヘディングアップでは進行方向が、ノースアップでは北が画面の上になります。※地図画面上でコンパスをタッチして設定できます。
文字の大きさ	➡ふつう 大きめ 小さめ	地図画面に表示される地名や交差点名、高速道路出入口などの文字の大きさを設定します。
優先表示	➡標準 住所優先 道路名優先 施設名優先	地図画面に表示される地名、道路名、施設名のうち、どれを優先して表示するかを設定します。
地図色設定 [*2]	テーマ選択 ➡標準設定 昼夜色切替 ➡自動 昼固定 夜固定	テーマ選択はウェブサイトで作成した地図色設定をダウンロードして使用するときに設定します。 昼夜色切替は時間帯により地図色表示を変更します。 昼間　夜間

[*1]：案内優先表示 / 交差点情報表示 / 交差点情報数 / 到着予想表示

案内優先表示設定にて「案内方向優先」に設定した場合、表示設定内の詳細設定にある次の内容は、表示が固定され設定できなくなります。

1. 交差点情報表示
2. 交差点情報数
3. 到着予想表示

「レーン情報」を選択した場合は、すべて任意の設定が可能です。

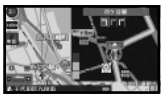
[*2]：地図色設定

自動切替に設定しているときは、次の時間で切り替わります。

4月1日～9月30日 ：6時（夜間色⇒昼間色）、18時（昼間色⇒夜間色）

10月1日～3月31日：7時（夜間色⇒昼間色）、17時（昼間色⇒夜間色）

表示設定：通常設定

設定項目	選択肢	設定内容
ランドマーク表示	−	地図画面上に表示する各施設のアイコンの表示･非表示を設定します。ジャンル単位で設定できます。
青看板表示	➡表示する 表示しない	国道案内標識（青看板）の表示を設定します。※地図画面上でもごみ箱機能を使って表示・非表示を変更できます。 表示する　表示しない
交差点拡大図表示	➡表示する 表示しない	右左折する交差点での拡大図の表示の有無を設定します。※地図画面上で拡大図をタッチして設定できます。  表示する　表示しない

表示設定：詳細設定

初期状態では「➡」マークの選択肢が設定されています。

設定項目	選択肢	設定内容
現在地アイコン [*3]	➡△ クルマ バイク 徒歩 自転車	地図画面上で現在地を示すアイコンを変更できます。
コンパス表示	➡表示する 表示しない	地図画面上の現在時刻の表示・非表示を設定します。※地図画面上でもごみ箱機能を使って設定できます。
現在時刻表示	➡表示する 表示しない	地図画面上の現在時刻の表示・非表示を設定します。※地図画面上でもごみ箱機能を使って設定できます。
ハイウェイマップ	➡表示する 表示しない	高速道路や有料道路走行時のハイウェイマップ表示の有無を設定します。※地図画面上でハイウェイマップをタッチして設定できます。 表示する　表示しない
軌跡表示 [*4]	表示する ➡表示しない	GPS 軌跡を地図画面上に点であらわします。
道路強調表示	➡なし 高速以上強調 国道以上強調 県道以上強調	地図画面上で主要道路を太く強調して表示します。

[*3]：現在地アイコン

ルート設定画面で走行モード (クルマ、バイク、徒歩・自転車) を切り替えても、現在地アイコンの表示とは連動しません。

[*4]：軌跡表示

表示しない設定の場合でも、GPS を利用した測位やあしあとログの記録は行われます。

表示設定：詳細設定

設定項目	選択肢	設定内容
交差点情報表示 [*1]	➡交差点名称表示 レーン情報表示	レーン情報優先表示時の、レーン情報の内容を設定します。※地図画面でレーン情報表示（推奨レーン表示）をタッチして設定できます。 交差点名称　レーン情報
交差点情報数 [*1]	表示しない ➡１つ ２つ ３つ ４つ ５つ	レーン情報優先表示時の、レーン案内情報の数を設定します。※地図画面でレーン情報表示（次案内ポイント）をタッチして設定できます。 ２つ　５つ
道路名・住所表示	表示しない ➡住所表示 道路名表示	地図画面下部に表示される現在地名表示／道路名表示を設定します。 ※地図画面上で表示を直接タッチで切り替えられます。
到着予想表示 [*1]	➡表示する 表示しない	到着予想時刻と残距離表示の有無を設定します。 表示する　表示しない

[*1]：案内優先表示 / 交差点情報表示 / 交差点情報数 / 到着予想表示

案内優先表示設定にて「案内方向優先」に設定した場合、表示設定内の詳細設定にある次の内容は、表示が固定され設定できなくなります。

1. 交差点情報表示
2. 交差点情報数
3. 到着予想表示

「レーン情報」を選択した場合は、すべて任意の設定が可能です。

サウンド設定

初期状態では「➡」マークの選択肢が設定されています。

設定項目	選択肢	設定内容
案内頻度	なし 少ない ➡普通 多い 非常に多い	ルート案内時の音声案内の頻度を設定します。頻度が高くなるほど案内ポイントの手前から数多く案内を行います。
音声選択	➡標準音声	案内音声を設定します。SDカードに収録した案内音声がある場合は選択肢に追加されます。
センサー連動	➡なし お姉さん	移動速度が一定速度に達したときなどに音声でお知らせします。SDカードに収録したセンサー連動音声がある場合は選択肢に追加されます。

案内設定

初期状態では「➡」マークの選択肢が設定されています。

設定項目	選択肢	設定内容
オートリルート [*5]	➡する しない	ルート案内中にルートを外れた場所を走行した場合、目的地までのルートを自動的に再探索します。
オービス警告レベル	警告しない 低い ➡普通 高い	オービス警告の頻度や警告を始める距離を設定します。レベルが高くなるほど案内ポイントの手前から数多く警告します。
目的地方向線	➡表示する 表示しない	ルート案内中、走行ルートとは別に目的地の方向を点線で表示します。
フェリー利用 [*6]	➡利用する 利用しない	ルート探索時にフェリー航路も含めたルート探索を行います。
案内タイミング	➡普通 少し早め もっと早め	案内ポイントに近づいたときの案内を始めるタイミングを設定できます。
マップマッチング [*7]	しない 低い ➡普通 強い	現在位置の測定誤差の補正の強さを設定できます。強くなるほど道路を通るよう修正します。
あしあと記録間隔 [*8]	➡1秒 2秒 3秒	あしあとログを記録する間隔を設定できます。

[*5]：徒歩・自転車モードでの案内時のオートリルート

ルート設定画面で走行モードを「徒歩・自転車」にしてルート探索・案内をおこなっているときは、ここでの設定にかかわらずオートリルートは行いません。

[*6]：フェリー利用

フェリー航路も含むルート探索を行ったときは、利用しない場合に比べ探索に時間がかかることがあります。

[*7]：マップマッチング

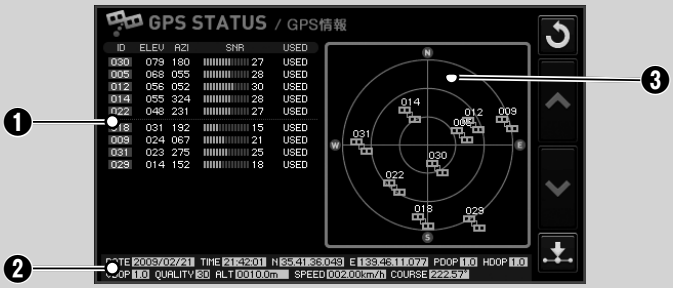
マップマッチングとはGPSから取得した位置情報を地図上の道路へ補正（紐付け）する機能です。「低い」「普通」「強い」は設定した強弱から位置や方向等を参考に、適当な道路上へ位置を補正します。「しない」は道路と関係なく、測位結果をそのまま地図上に表示します。

[*8]：あしあと記録間隔

あしあとログが1回で記録できるポイント数は、記録するSDカードの容量により異なります。あしあとを記録する間隔を長くすることで、同じ容量のSDカードでも、より長時間の連続記録が可能になります。

GPS情報画面

GPS情報画面



GPS情報画面

GPS電波の受信状況を確認できます。画面右側の図でオレンジ色で表される衛星からのGPS電波を測位に利用しています。画面左側の棒グラフの数値は、それぞれの衛星からのGPS電波の強さを表します。

❶ GPS情報表示エリア

信号を受信したGPS衛星が表示されるエリアです。

ID：GPS衛星ID番号
ELEV:衛星の仰角
AZI:衛星の方位角
SNR:S/N比数値
USED:GPS信号取得・未取得

❷ GPSステータスエリア

GPSから取得した自分のGPSの情報が表示されるエリアです。

DATE：西暦年月日
TIME：現在時刻
N：北緯表示
E：東緯表示
PDOP：位置精度低下率
HDOP：水平精度低下率
VDOP：垂直制度低下率
QUALITY：測位状態(2D/3D)
ALT:平均海面からの高度
SPEED：移動速度
COURSE：角度

❸ GPSレーダーディスプレイ

天空にあるGPS衛星の位置と、その衛星から送信されるGPS電波の強さを表示します。

付録

測位機能について

GPS（Global Positioning System）とは

GPS（Global Positioning System）は、アメリカ国防総省が配備する人工衛星による位置検出システムです。人工衛星から発せられる電波を受信し、三角測量の原理を利用して位置を検出します。GPSのみで測位を行う場合、通常は± 30 メートル程度の誤差が生じます。特殊な条件下ではGPS電波が弱まったり、受信できなくなることがあります。このため、測位ができなくなったり測位精度が低下することがあります。また、正常にGPS電波を受信していても走行条件によって誤差が累積され、測位精度が低下することがあります。

●GPS電波そのものが微弱になり、測位不能になったり精度が低下する場合
次のような状況ではGPS電波を受信できなかったり精度が低下することがあります。

・トンネルや地下駐車場、屋内など天空が覆われている場所
・高架道路の下や密集した樹木の下など、ひさし状になっている場所
・高層ビルの間や山岳地帯の谷間など、天空が狭まっている場所
・熱線吸収ガラスや熱線反射ガラスが組み込まれた車で使用している場合
・使用している場所の上空を通過する人工衛星が少ない時期や時間帯
・携帯電話などの強力な電波を発する機器の近くや、送信施設が付近にある場合

●移動条件によって測位不能になったり測位精度が低下する場合
ゆっくりとした移動やゆるやかな方向の変化があったとき、長時間GPS電波を受信しないまま移動したときは測位精度が低下することがあります。具体的には次のような状況で測位精度が低下するおそれがあります。

・ターンテーブルに乗ったり、らせん状の道路を走行したときやその直後
・フェリーや車両運搬車などで移動したあと
・電源を入れた後、GPS電波を受信するまで
・分岐の角度が小さいY字路を走行したとき
・道幅の広い道路で蛇行運転したとき
・すぐ近くに並行する道路があるとき
・直線やゆるやかなカーブを長距離走った直後

●本製品を初めて使用するとき・長期間使わなかったとき・リセットをしたとき
GPS電波を受信するまで 15 ～ 20 分程度かかることがあります。また、条件がよい場所でも、本体電源を入れてGPS電波を受信しないまま走行し始めると、かえってGPS電波を受信するまでに時間がかかることがあります。このようなときは天空が覆われていない場所で、GPS電波を受信するまで停止することをおすすめします。

地図データベースについて

地図データについて

●いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

●データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。

●この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベース（©2009 年財団法人日本デジタル道路地図協会 ）を使用しました。（ 測量法第 44 条に基づく成果使用承認　07-125P ）[2008 年 9 月発行データ使用]

● この地図は小田原市長の承認を得て、同市発行の 2,500 分の 1 国土基本図を使用しました。
（ 承認番号 ）平成 10 年 小田原市指令第 52 号　平成 10 年 4 月 2 日承認

● この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の 2,500 分の 1 の都市計画基本図を使用しました。
（ 測量法第 44 条に基づく成果使用承認　平成 12 年度 知都発第 170 号 ）

● この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の 2,500 分の 1 都市計画図を使用しました。
（ 平成 12 年　養建第 1902 号 ）

● この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の 2,500 分の 1 全図を使用し、調製しました。
（ 承認番号 ）平 10．近公．第 34 号

● この地図は大木町の承認を得て、同町発行の 5,000 分の 1 の地形図を使用し調製したものです。
（ 承認番号 ）15 大木建第 734 号

● この地図は、堀金村長の承認を得て 1/2,500 の都市計画図を参照して作成したものです。
（ 承認番号 ）16 堀第 5417 号

● この地図は東近江市長の承認を得て、同市発行の地形図 1/2,500 使用し、調製したものである。
（ 承認番号　東開第 111 号　平成 18 年 2 月 28 日承認 ）

● この地図は、伊香保町長の承認を得て、平成 7 年度作成の 10,000 分の 1 の白図を使用し、調製したものです。
（ 承認番号 ）伊建農発 229 号　平成 17 年 7 月 14 日承認

● この地形図は、東京都都市整備局および東京デジタルマップの東京都縮尺 1/2,500 地形図を使用して作成したものである。
（ 承認番号:18 東デ共 041 号 ）

● この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺 2,500 分の 1 の地形図を使用して作成したものである。
（ 承認番号 ）18 都市基交 第 478 号

● この地図は、津山市長の承認を得て、同市所管の測量成果津山市都市計画（ 1/2,500 ）を使用し調製したものです。
（ 承認番号　平成 17 年津山市使用承認第 5 号 ）

地図データベースについて

● この地図は、宇部市長の承認を得て平成 13 年作成の宇部市域図を使用したものである。
(承認番号) 指令宇都第 13 号　平成 18 年 5 月 15 日承認

● この地図は、宇部市長の承認を得て平成 13 年作成の宇部市域図を使用したものである。
(承認番号) 指令宇都第 14 号　平成 18 年 5 月 31 日承認

● この地図は、周防大島町長の承認を得て、周防大島町管内図を使用したものである。
(承認番号) 周防建設第 56 号　平成 18 年 5 月 12 日承認

● この地図は、東かがわ市長の承認を得て、同市所管の測量成果である東かがわ市地形図 1/10,000 及び東かがわ市都市計画図 1/2,500 を使用して調製したものである。
(承認番号　平成 18 年 5 月 2 日 18 建第 107 号)

● この測量の成果は、東温市長の承認により、平成 17 年 3 月作成の東温市都市計画図を使用して得たものである。
(承認番号　H18 東温都第 174 号)

● この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の 1/5,000 森林基本図を使用したものである。
(承認番号　林振第 350 号　平成 18 年 9 月 19 日承認)

● この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の 1/5,000 森林基本図を使用したものである。
(承認番号　林振第 611 号　平成 19 年 2 月 28 日承認)

● この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。
承認番号　平成 19 年 3 月 7 日 指令水緑 -1258

● この地図は、山形県の森林基本図を複製したものである。
承認番号森第 18-10 号

● この地図は長岡市長の承認を得て、同市所管の地形図 1/10,000 を使用して調製したものである。
(長都政第 477 号　平成 18 年 3 月 28 日承認)

●　この図面は山梨県が作成した測量成果をもとに作成したものです。
使用承認　平成 19 年 3 月 1 日　森整第 1561 号

● この地図は、長野県知事の承認を得て、長野県森林基本図を使用して作成したものである。
(承認番号 18 森政第 5-5 号)

● この地図は島根県が作成した森林基本図 1:5,000 を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。
(承認番号　平成 18 年 11 月 24 日付け森第 1286 号)

● この地図は島根県が作成した森林基本図 1:5,000 を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。
(承認番号　平成 19 年 2 月 27 日付け森第 1736 号)

● この地図は、広島県知事の承認を得て、同県所管の 1/5,000 森林基本図を使用したものである。
(広島県使用承認林振第 115 号　平成 19 年 2 月 15 日承認)

● この地図は、徳島県知事の承認を得て、同県所管の 1/5,000 森林基本図を使用したものである。
(承認番号　林振第 484 号　平成 19 年 1 月 30 日承認)

地図データベースについて

● この地図は、佐賀県知事の承認を得て、同県所管の 1/5,000 森林基本図を使用したものである。
(承認番号　森整第 010634 号　平成 18 年 10 月 4 日承認)

● この地図は、長崎県知事の承認を得て、長崎県森林基本図(1/5,000)を使用し調製したものである。
承認番号 18 林第 492 号 (平成 18 年 10 月 6 日)

● この地図は、熊本県知事の承認を得て 5,000 分の 1 の森林地形図を複製したものである。
(承認番号 森整第 993 号・平成 19 年 2 月 14 日)

● この地図は、熊本県知事の承認を得て 5,000 分の 1 の森林地形図を複製したものである。
(承認番号 森整第 1079 号・平成 19 年 3 月 7 日)

● この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000 分の 1 森林基本図を使用し、調製したものである
(承認番号林 18-1　平成 18 年 12 月 5 日)

● この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000 分の 1 森林基本図を使用し、調製したものである
(承認番号林 18-2　平成 19 年 3 月 7 日)

● この地図は宮崎県知事の承認を得て 5,000 分の 1 森林基本図を使用し、調製したものである。
(承認番号 使 18-1 号　平成 18 年 12 月 8 日)

● この地図は宮崎県知事の承認を得て 5,000 分の 1 森林基本図を使用し、調製したものである。
(承認番号 使 18-3 号　平成 19 年 3 月 8 日)

● この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5 千分の 1 森林基本図を使用したものである。
(承認番号　平 18　林振第 360 号)

● この地図は、知覧町長の承認を得て、同町発行の 1/5,000 全図を使用し、調製したものである。
(承認番号) 平成 18 年 5 月 26 日知耕第 590 号

● この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 5 千分の 1 国土基本図を使用したものである。
(承認番号　平 19 総使、第 24 号-17 号)

● この地図の作成にあたっては、茨城県林政課作成の 5 千分の 1 森林基本図を使用しました。
(測量法第 44 条第 3 項の規定に基づく成果使用承認　平成 19 年 8 月 8 日付、承認番号　林政 19-482 号、茨城県林政課長)

● この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 5 千分の 1 国土基本図を使用したものである。
(承認番号　平 19 総使、第 247 号-17 号)

● この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。
(承認番号　平成 18 年 11 月 30 日 指令水緑-947)

地図データベースについて

● この地図は、笛吹市長の承認を得て同市発行の 10,000 分の 1 の全図を使用し、作成したものである。
(承認番号 笛まち第 12-25 号　平成 19 年 12 月 13 日承認)

● この地図は、岐阜県知事の承認を得て、岐阜県共有空間データ (18 国地部公発第 334 号) を使用したものである。
(承認番号 情企第 590 号 平成 20 年 3 月 24 日承認)

● この成果品は、高知県が作成した測量成果を、高知県知事の承認を得て使用し作成したものである。
(承認番号　平成 19 年 2 月 14 日付け 18 高森推第 568 号)

● この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5 千分の 1 森林基本図を使用したものである。
(承認番号　平 19 林振第 404 号)

交通規制データについて

● 本製品に使用している交通規制データは、道路交通法に基づき全国交通安全活動推進センターが作成した交通規制番号図を用いて、(財) 日本交通管理技術協会 (TMT) が作成したものを使用しています。TMT承認番号 08-87

● 本製品に使用している交通規制データは、2008 年 9 月現在のものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従って下さい。

● 本製品に使用している交通規制データの著作権は、(財) 日本交通管理技術協会が有し、二次的著作物作成の使用実施権をインクリメントP (株) が取得しています。本品に使用している交通規制データを無断で複写・複製・加工または改変することはできません。

©2007 TMT

●この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。

電話番号データについて

● 電話番号データは、日本ソフト販売株式会社「Bellemax® 」(2008 年 9 月現在) を使用しました。

＜その他©記載＞

©2009 (財団法人) 日本デジタル道路地図協会

©2009 INCREMENT P CORP.

商標・著作権・ライセンスなど

QR コードについて

「 QR コード」は (株) デンソーウェーブの登録商標です。

その他製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。

クラリオン株式会社

本社事務所
〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7-2
Clarion ホームページ　http://www.clarion.com

お問い合わせはお客様相談室へ
フリーダイヤル:0120 -112 -140

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

*お客様へ … ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、あとでお問い合わせされるときに便利です。

2009/9　QX-3010A